

関川村 湯沢地区 住民アンケート 分析レポート

～結果から何が見えてくるか？～

令和4年3月

NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンター

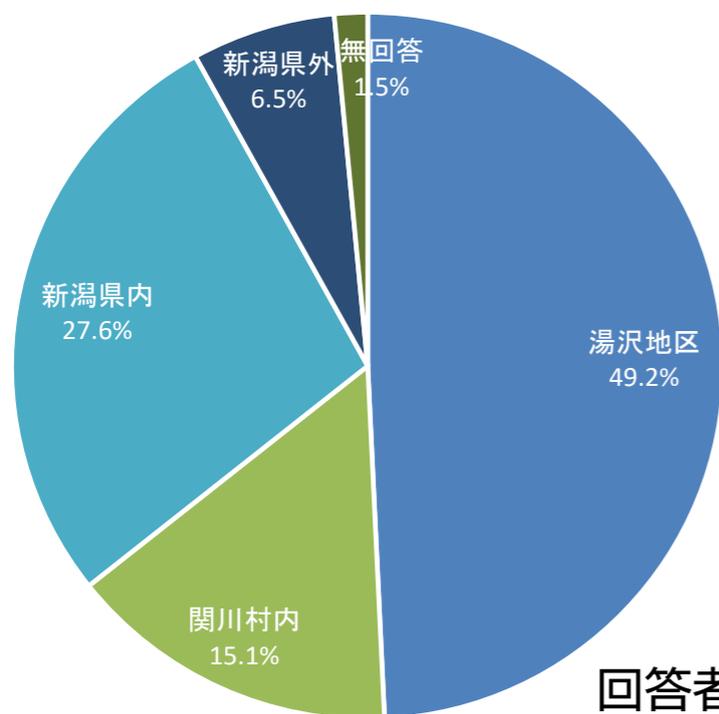
中学生以上の全住民アンケートの実施

配布数：352通

回収数：199通

回収率：**56.1%**

※一般的な住民アンケートの回収率と比べれば高いものの、全住民アンケートとしては回収率は高くはない。（大半は7割後半～9割ほどの回収率）



回答者属性（出生地別）

湯沢地区 住民アンケート

- 本アンケートは、住民一人一人の考えを把握し、世代別・男女別に日頃思っている考え・意見を整理するため、中学生以上の方に対して行っています。
- 回答は無記名でお願いいたします。
- 回答の結果は、個人を特定しない形で集計・分析し、今後の地域づくりに役立てていきます。
- アンケート用紙は、一人ひとり提出していただきますので、家族で意見が違って構いません。思ったことをそのまま回答してください。

問1 あなたの年齢と性別について、あてはまるものに○をつけてください。

(年齢) 1. 10～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上

(性別) 男性 ・ 女性

問2 あなたの生まれたところはどこですか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 湯沢地区 2. 関川村内（湯沢地区を除く） 3. 新潟県内 4. 新潟県外

問3 あなたの仕事にあてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

1. 農業 2. 林業 3. 漁業
4. 自営業 5. 会社員 6. 公務員・団体職員
7. パート・アルバイト 8. 専業主婦(夫) 9. 中学生
10. 高校生・高専生 11. 大学生・短大生・専門学校生
12. その他() 13. 無職

※学生及び仕事されている方は、以下もお答えください。

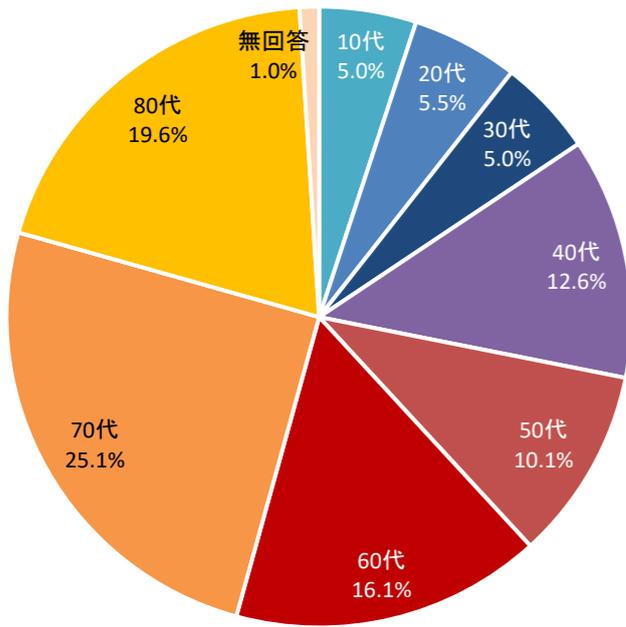
問3-2 休日はいつですか？（祝日を除く）

1. 土曜（毎週）と日曜 2. 土曜（隔週）と日曜 3. 日曜のみ
4. 平日 4. 不定期

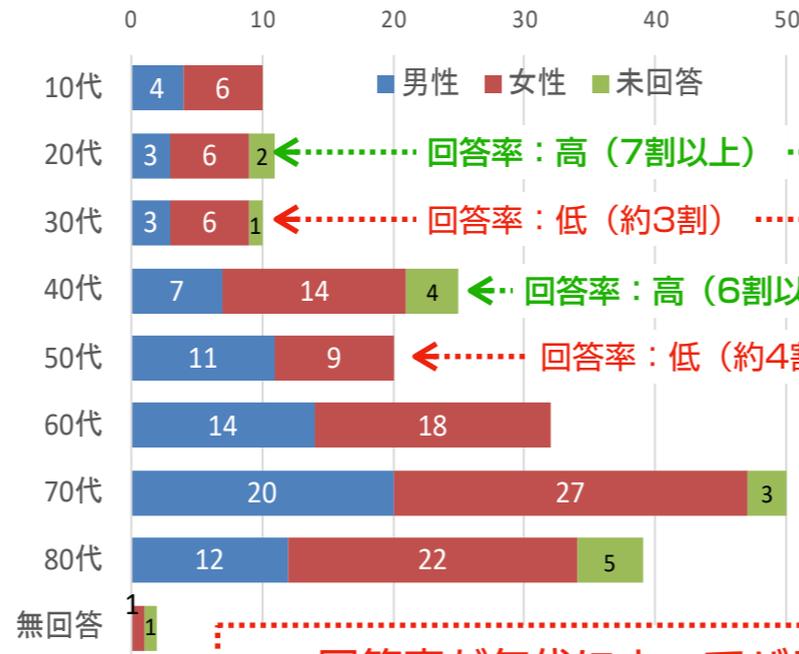
問4 農林業の作業（手伝いも含む）をしていますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 作業をしている 2. 作業をしていない

回答者属性 (年代別)

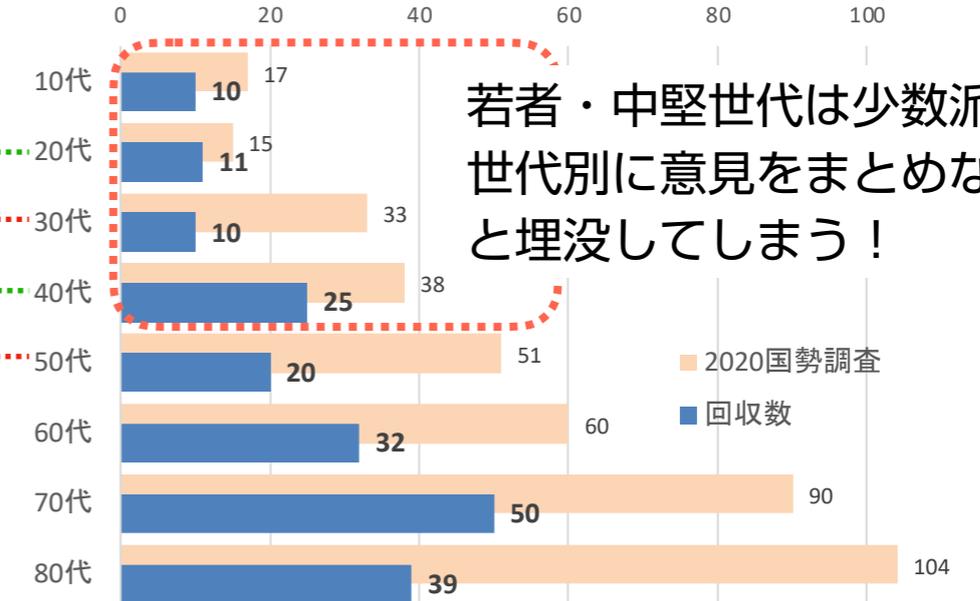


回答者属性 (年代別×男女別)



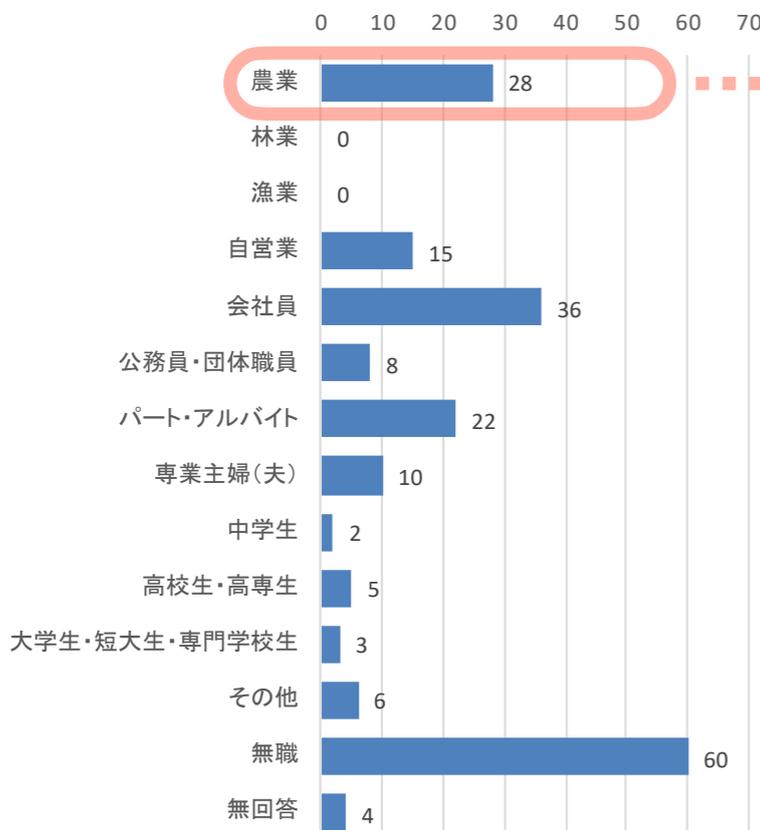
年代別回答率

※2020年国勢調査結果との比較



若者・中堅世代は少数派。
世代別に意見をまとめないと埋没してしまう！

回答率が年代によってバラツキがあるので、各年代の傾向はあくまでも目安！

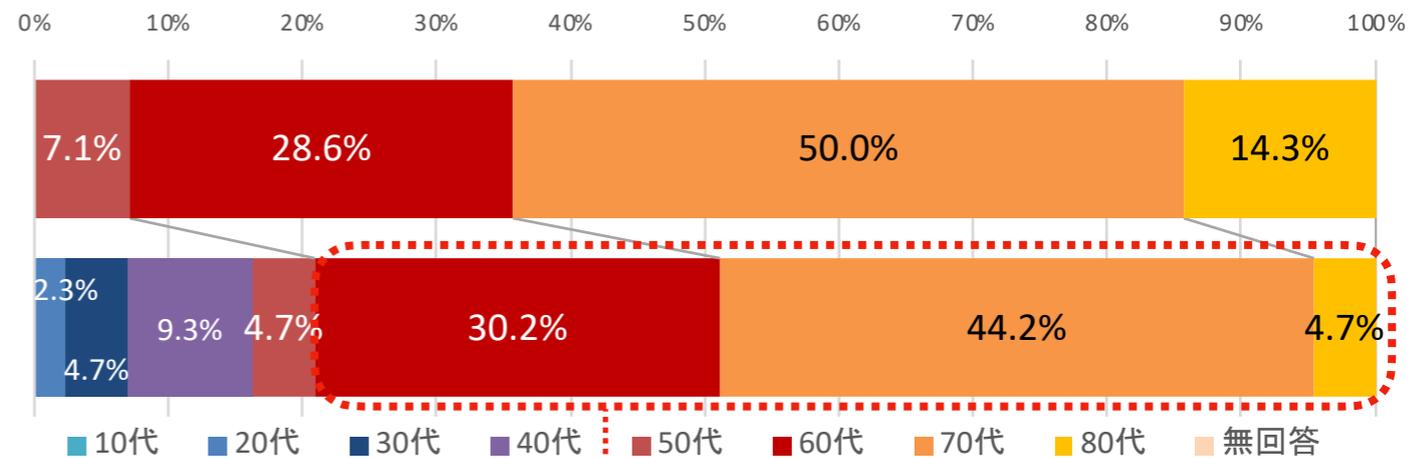


回答者属性 (職業)

農作業を手伝っているも含めると43人

農業従事者(兼業含む)

農作業を手伝っている



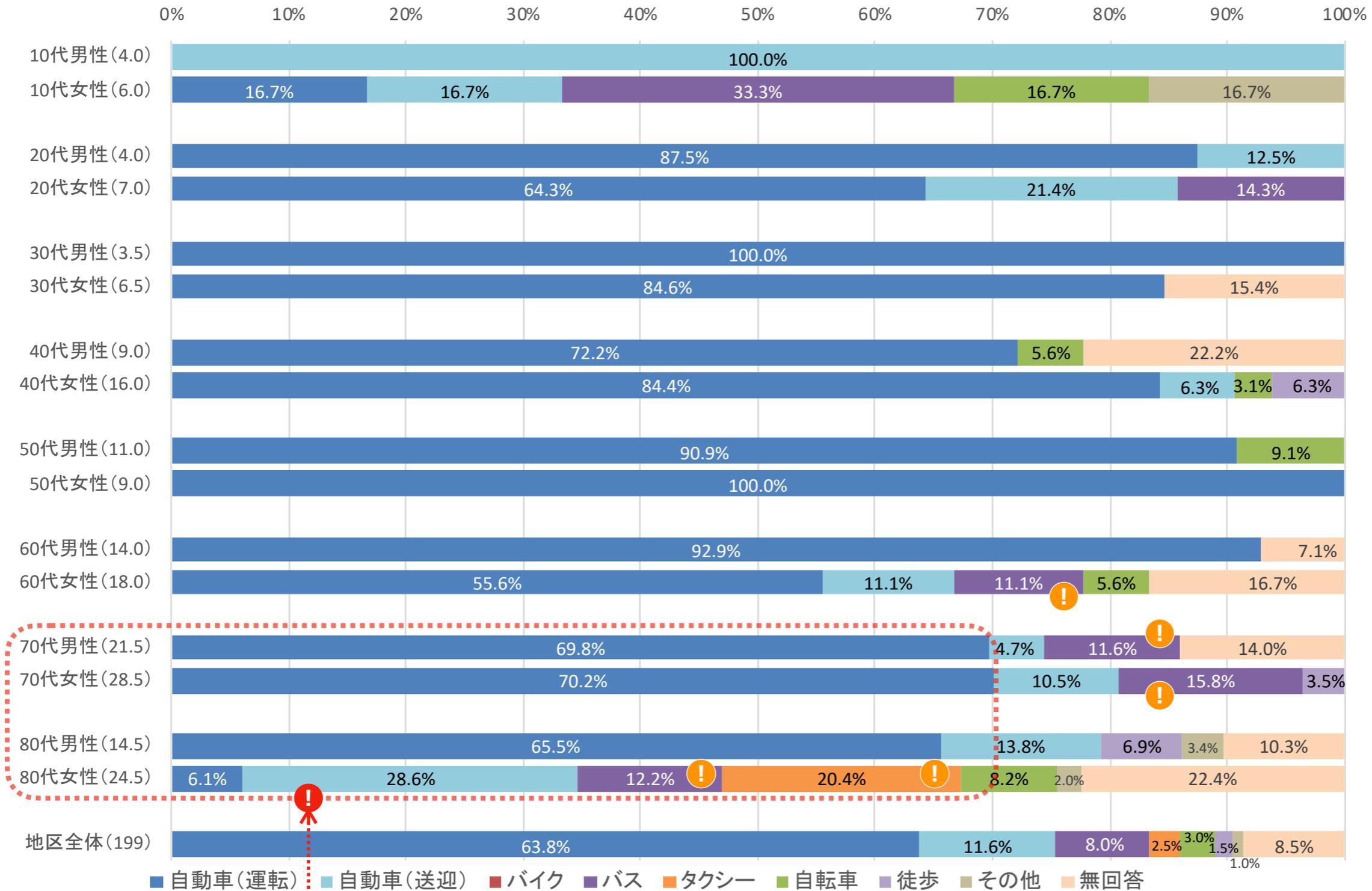
農業従事者の年代構成 (割合)

農作業を手伝っている人の79.1%は60代以上

将来的に農地の維持管理はどうなる？

年代別・男女別の日常的な交通手段

関川村湯沢地区 (2022)

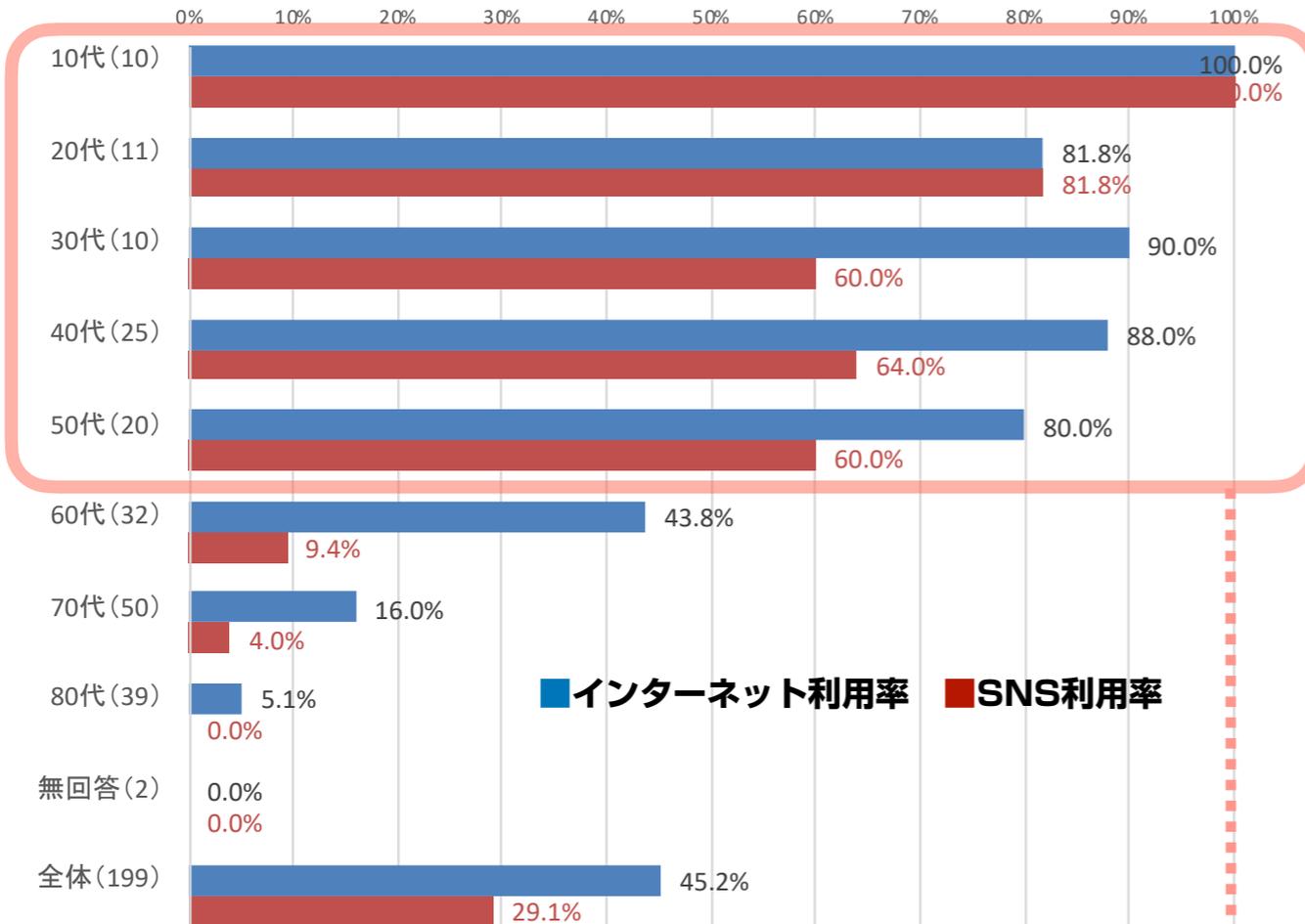


自ら車を運転しない人は、親族等による送迎よりも、公共交通を移動手段として利用している。

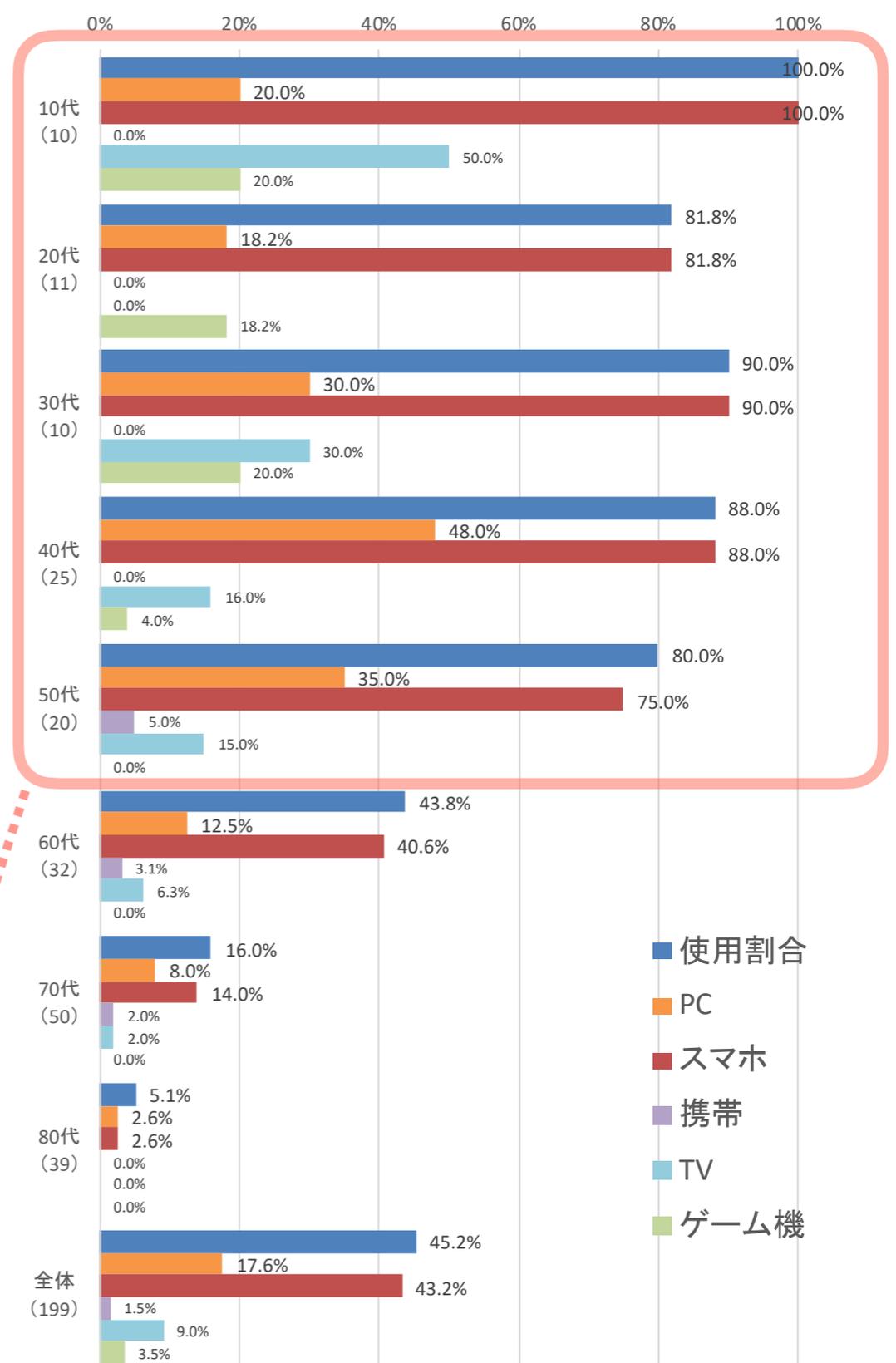
70代になると車を自分で運転する人の割合が減少

60代以上は1割以上がバス利用
80代女性は2割がタクシー利用

年代別インターネットの利用率



年代別インターネット利用における使用機器

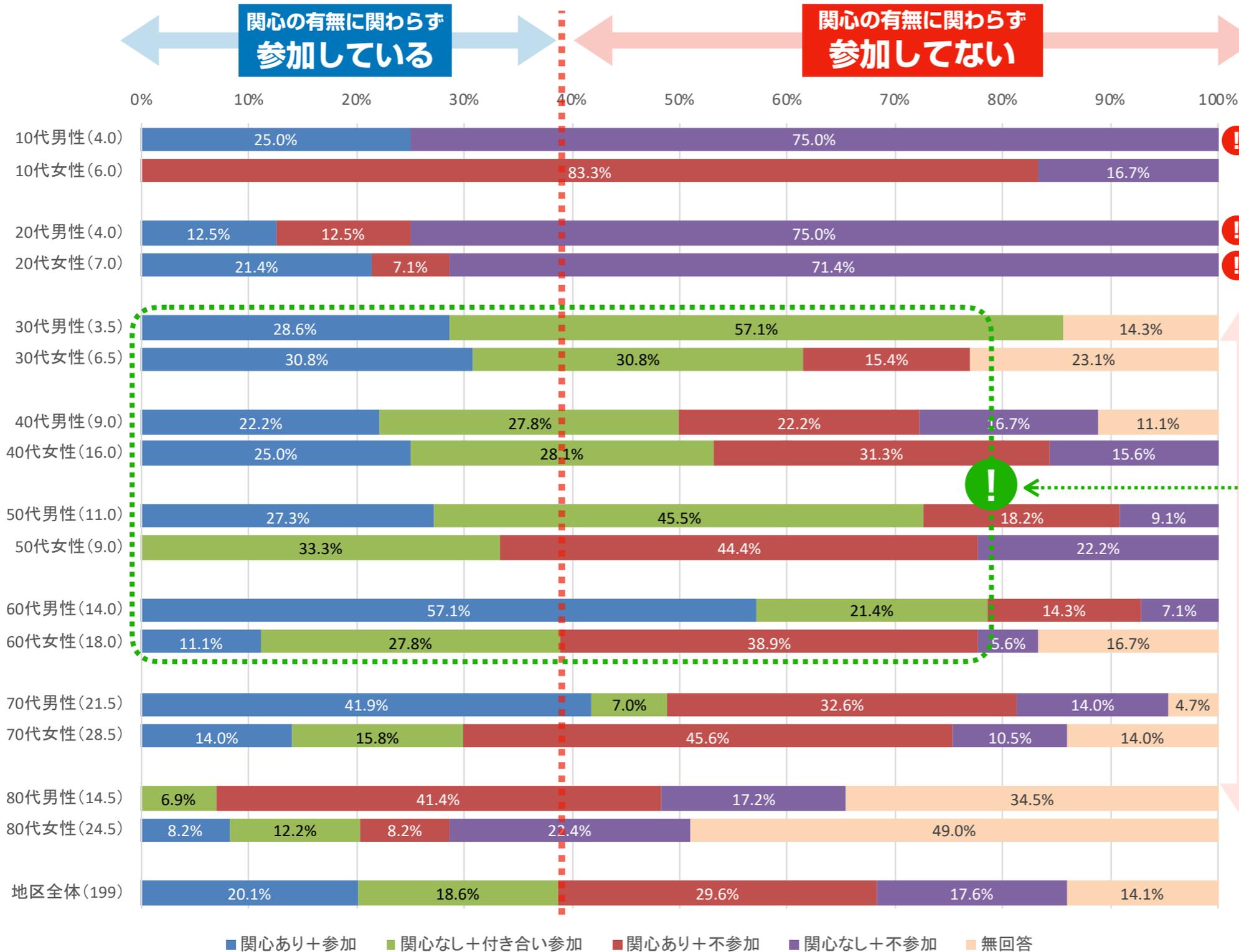


- 全体の半数近くがインターネットを利用。
- **50代以下はほぼ大半**がインターネットを利用。(60代でも4割)
- **大半がスマホ・携帯**で利用している。
- 50代以下は**6割以上がSNS**を利用。

50代以下はスマートフォン経由での情報伝達の方が効果的?!

地域活動への関心（年齢別・男女別）

関川村湯沢地区（2022）



【注意！】
 10～20代は大半が無関心+参加したいとは思っていない

現状は30～60代が頑張っているので何とか回っている。

30代以上（特に女性）は関心あり+不参加が2～4割

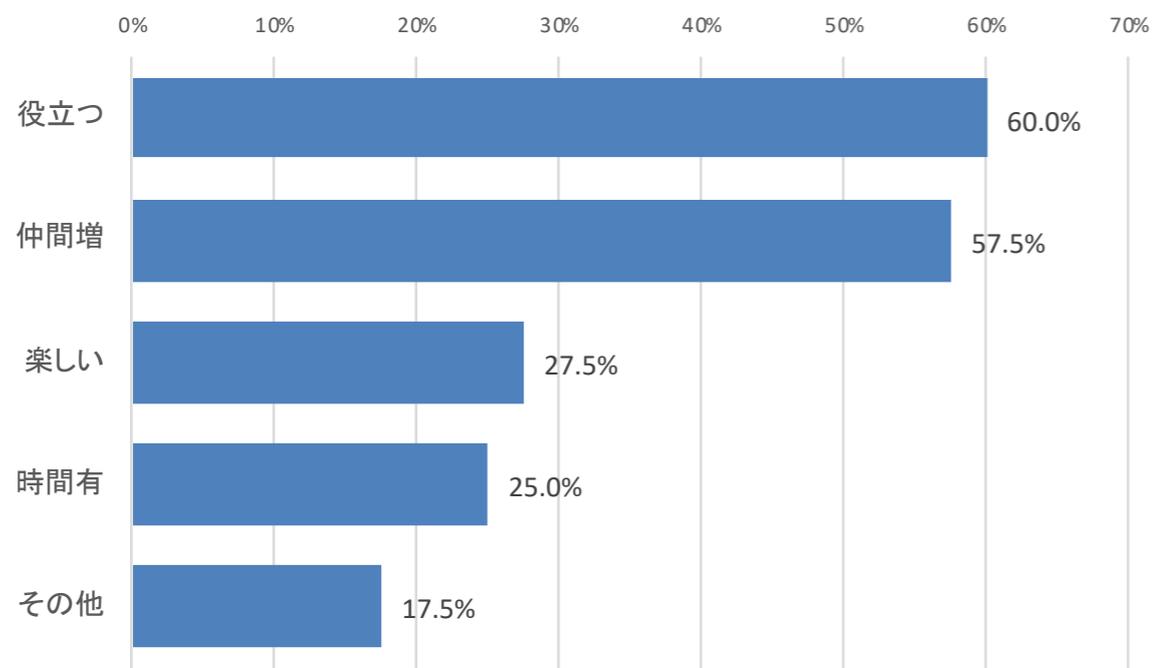
30代以上は、地域活動に参加していなくても関心はある

女性は「関心があっても参加していない」割合が男性に比べて高い。

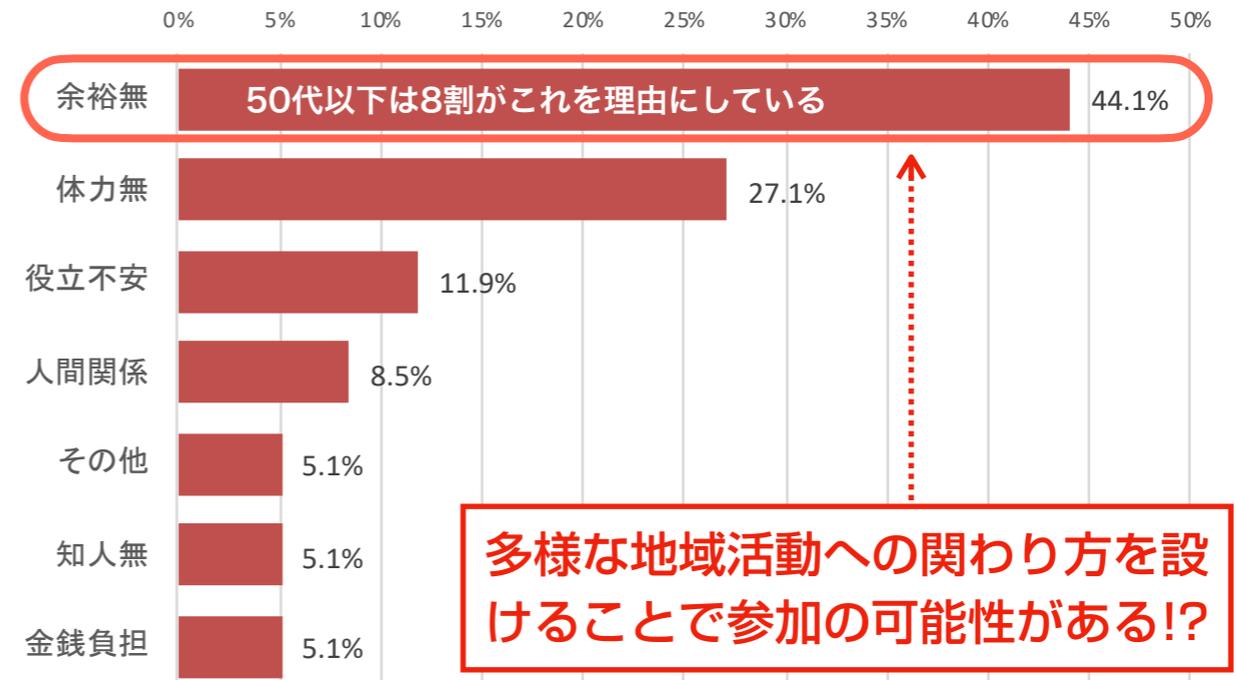
地域活動への関心（それぞれの理由）※複数回答

関川村湯沢地区（2022）

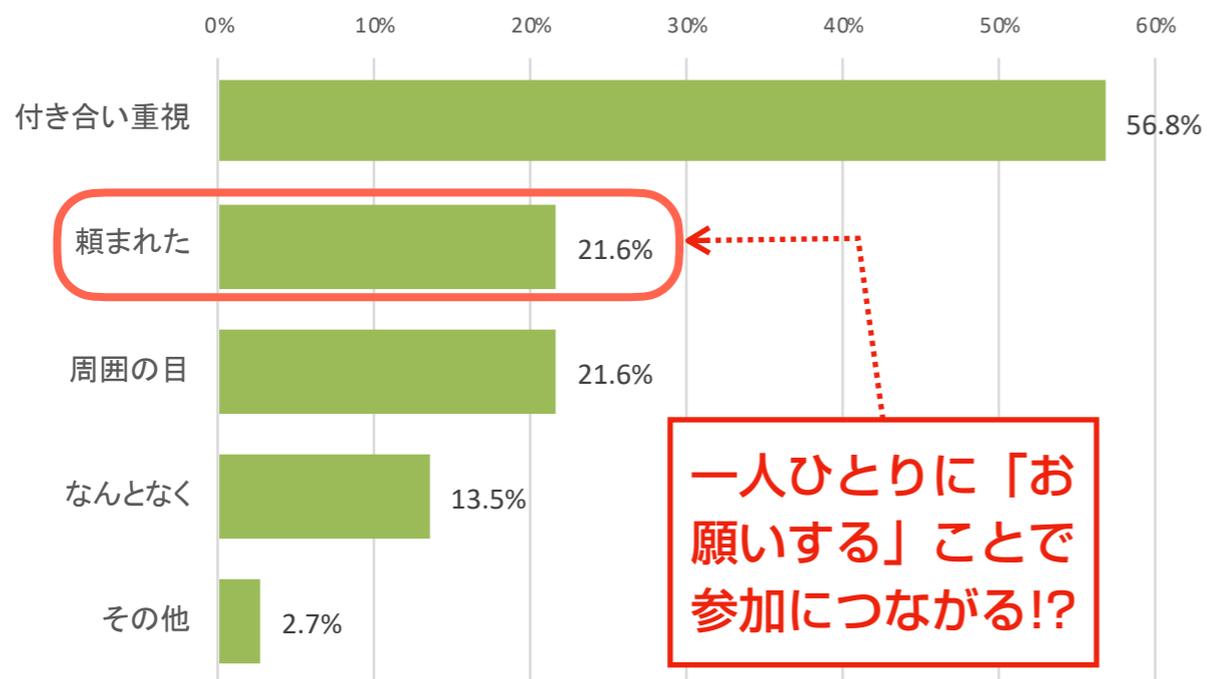
関心あり+参加の理由（回答数40）



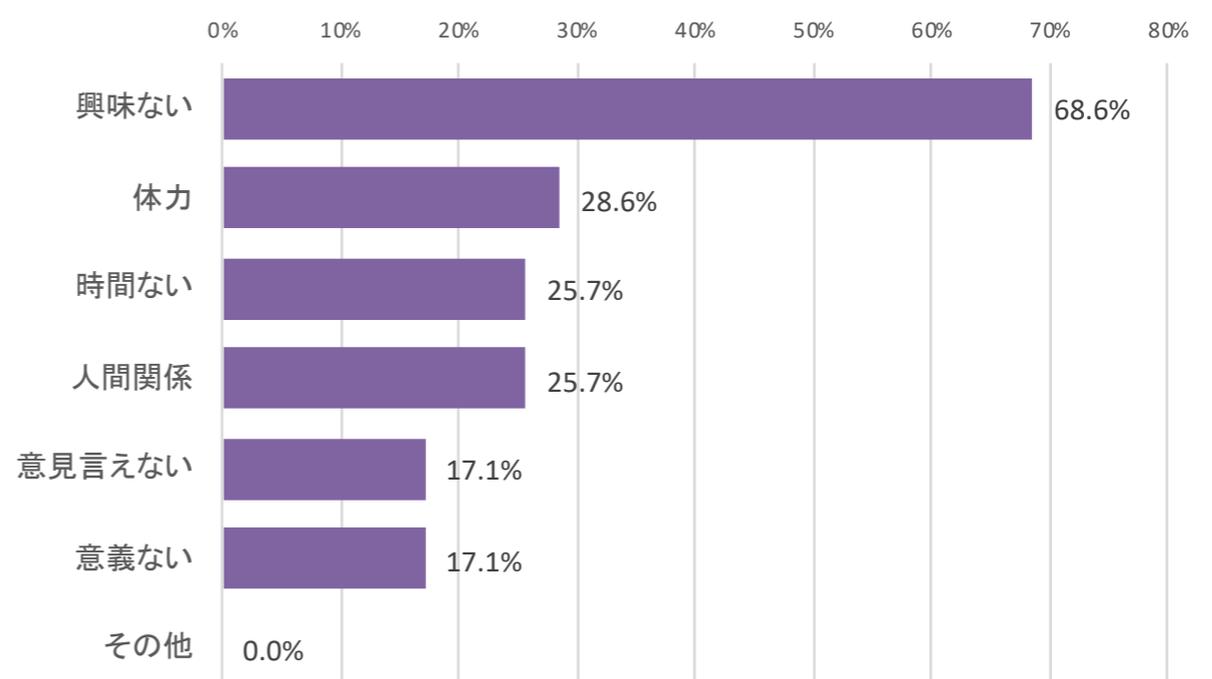
関心あり+不参加の理由（回答数59）



関心なし+付き合い参加の理由（回答数37）

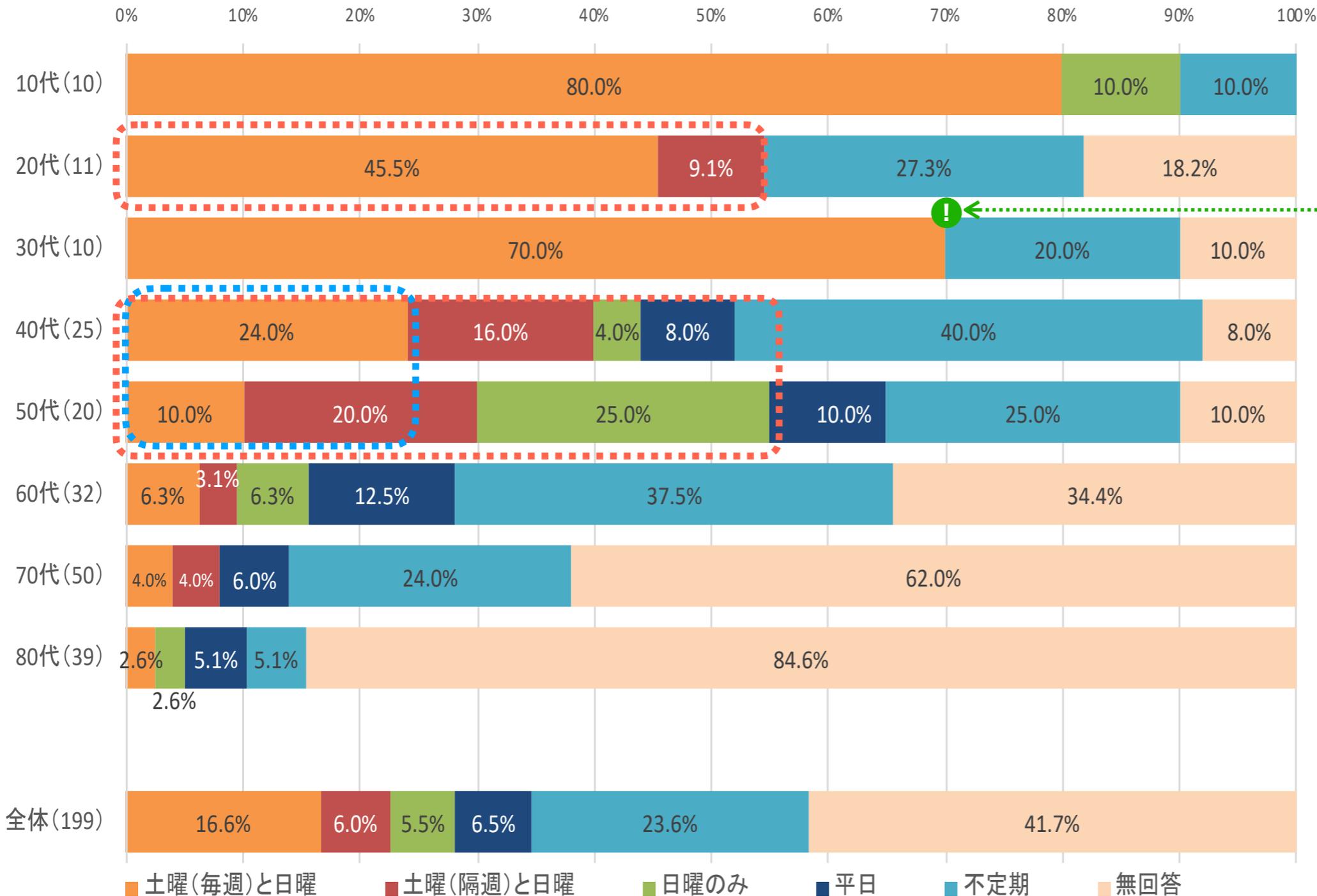


関心なし+不参加の理由（回答数35）



休日はいつか？（年代別）

関川村湯沢地区（2022）



30代は土日が休みであるため、**地域活動への参加割合が高い?!**

40~50代

土曜日が毎週休み

1~2割

20代・40~50代

日曜日が毎週休み

4~5割

休みが平日・不定期

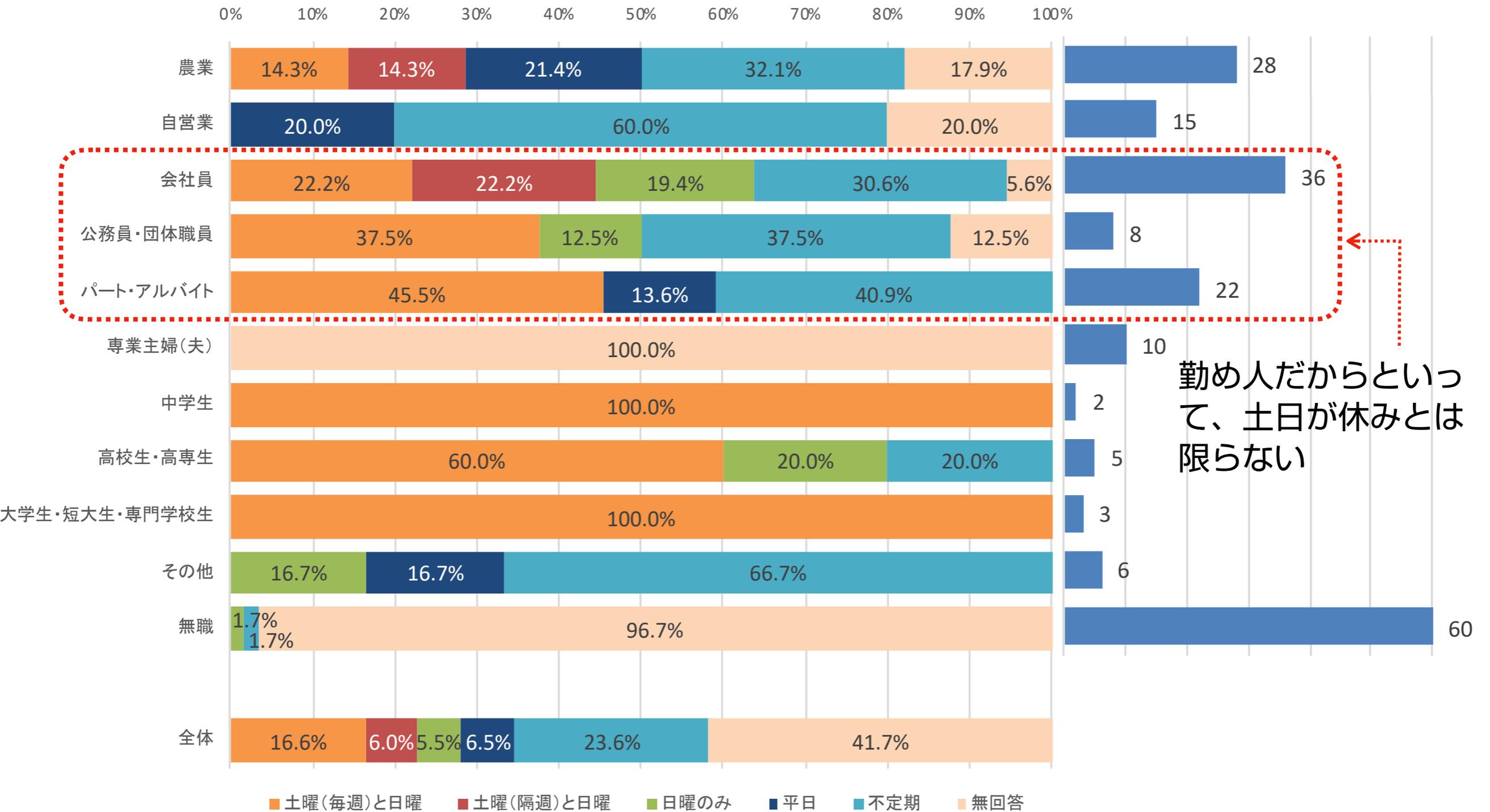
4割以上

必ずしも土日は休みではない

この世代の参加を求めるのであれば、配慮が必要！

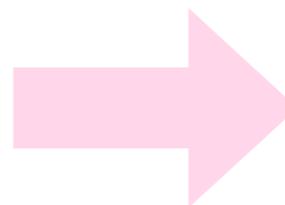
休日はいづか？（職業別）

関川村湯沢地区（2022）



勤め人だからといって、土日が休みとは限らない

当然、職業によっても
休日は異なる

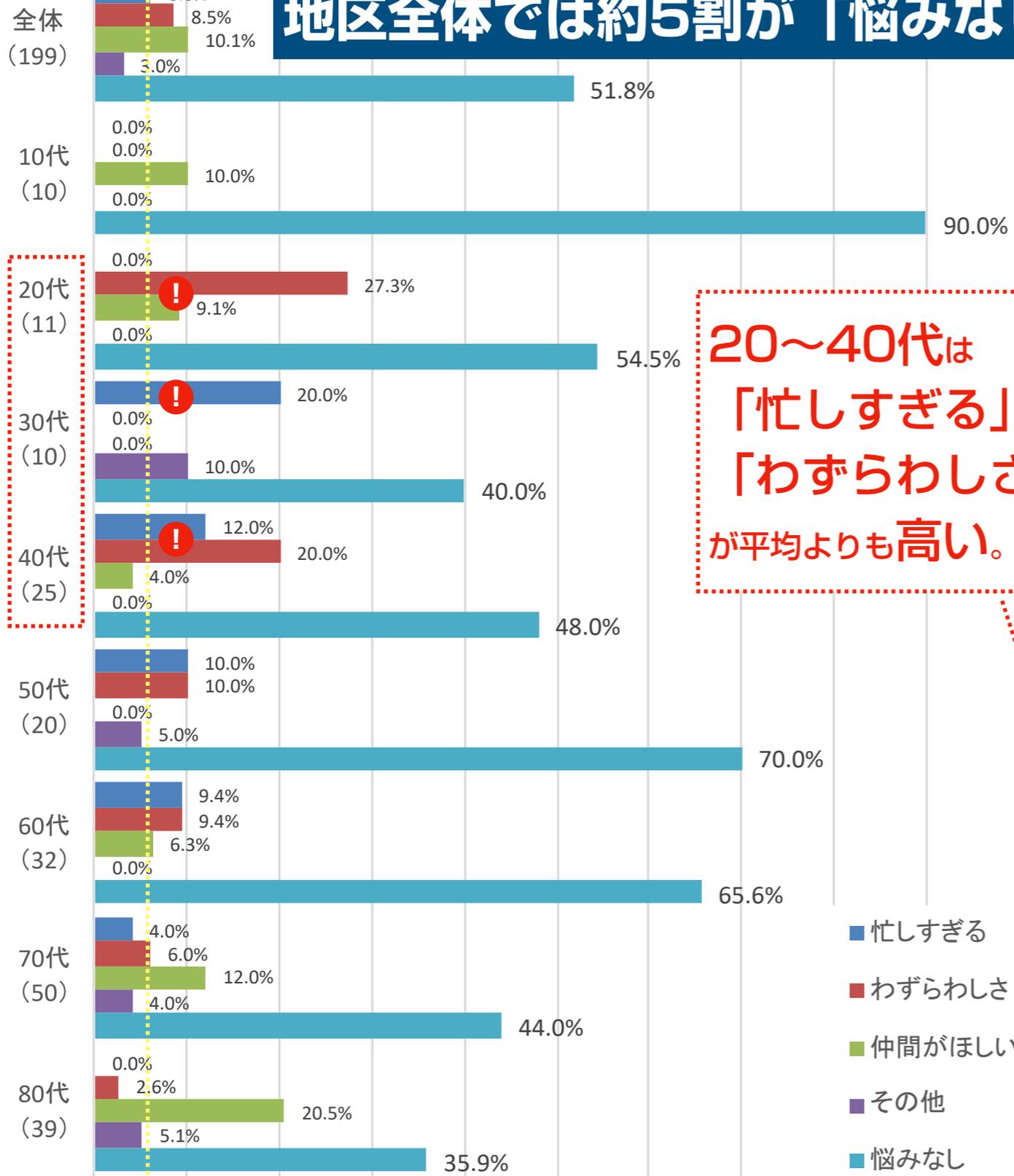


行事・共同作業の曜日
設定には配慮が必要

近所づきあいでの悩み / 会議出席・役員経験の有無 (年代別)

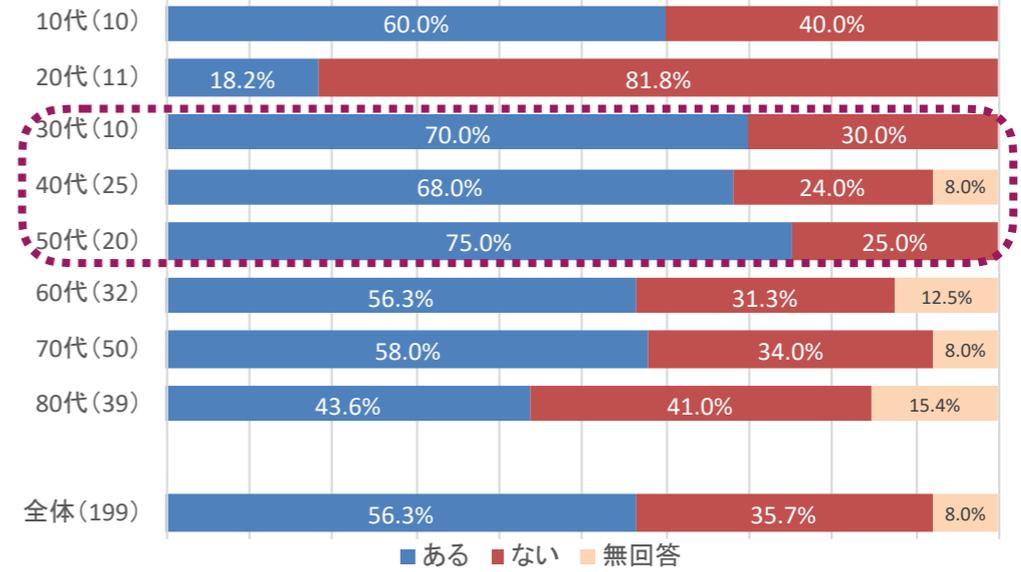
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

地区全体では約5割が「悩みなし」



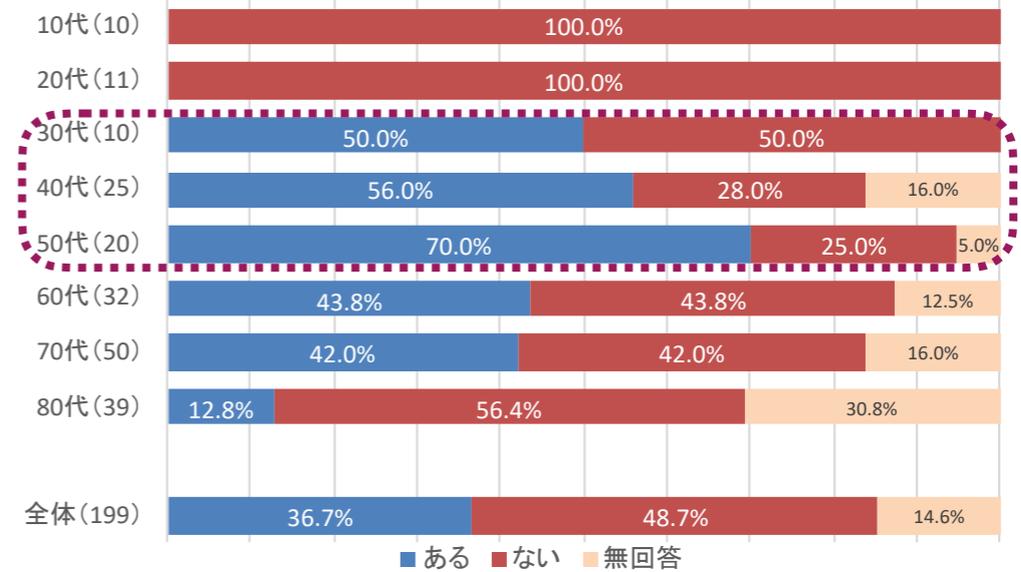
20~40代は「忙しすぎる」「わずらわしさ」が平均よりも高い。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



会議への出席有無 (年代別)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



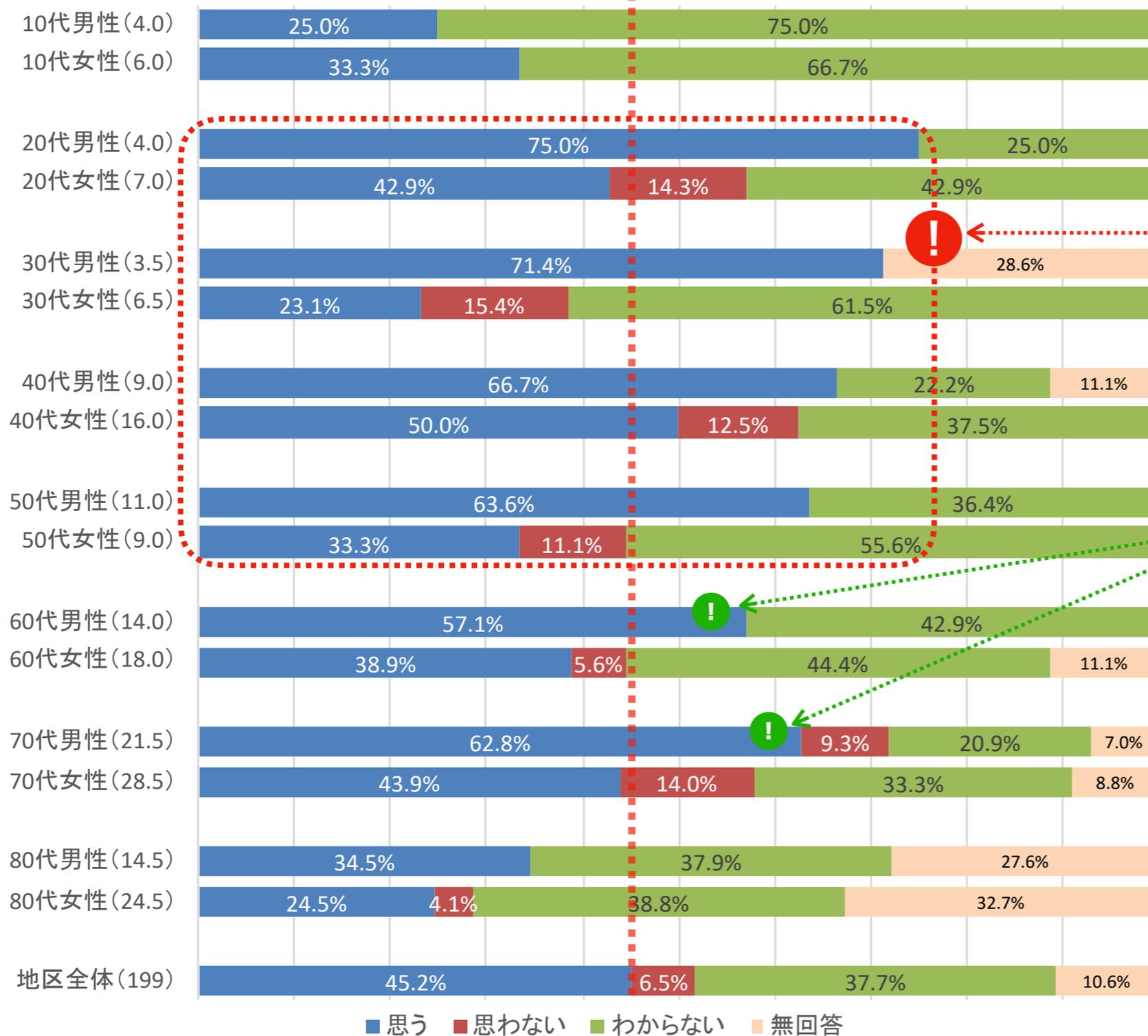
役員経験の有無 (年代別)

30~50代は会議出席・役員経験有の割合が他の世代よりも高い

人は減っているのに、役割・仕事は変わっていないならば、負担感が増すのは当然のこと。現状のやり方のままで大丈夫？

女性・若者の声を反映する必要性 (年代別×男女別) 関川村湯沢地区 (2022)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



20~50代男性は
声を反映すべきの割合が
6~7割とかなり高い

※女性は「わからない」が多い

+

60~70代男性も
約6割が必要と回答

||

お互いにその気はある！



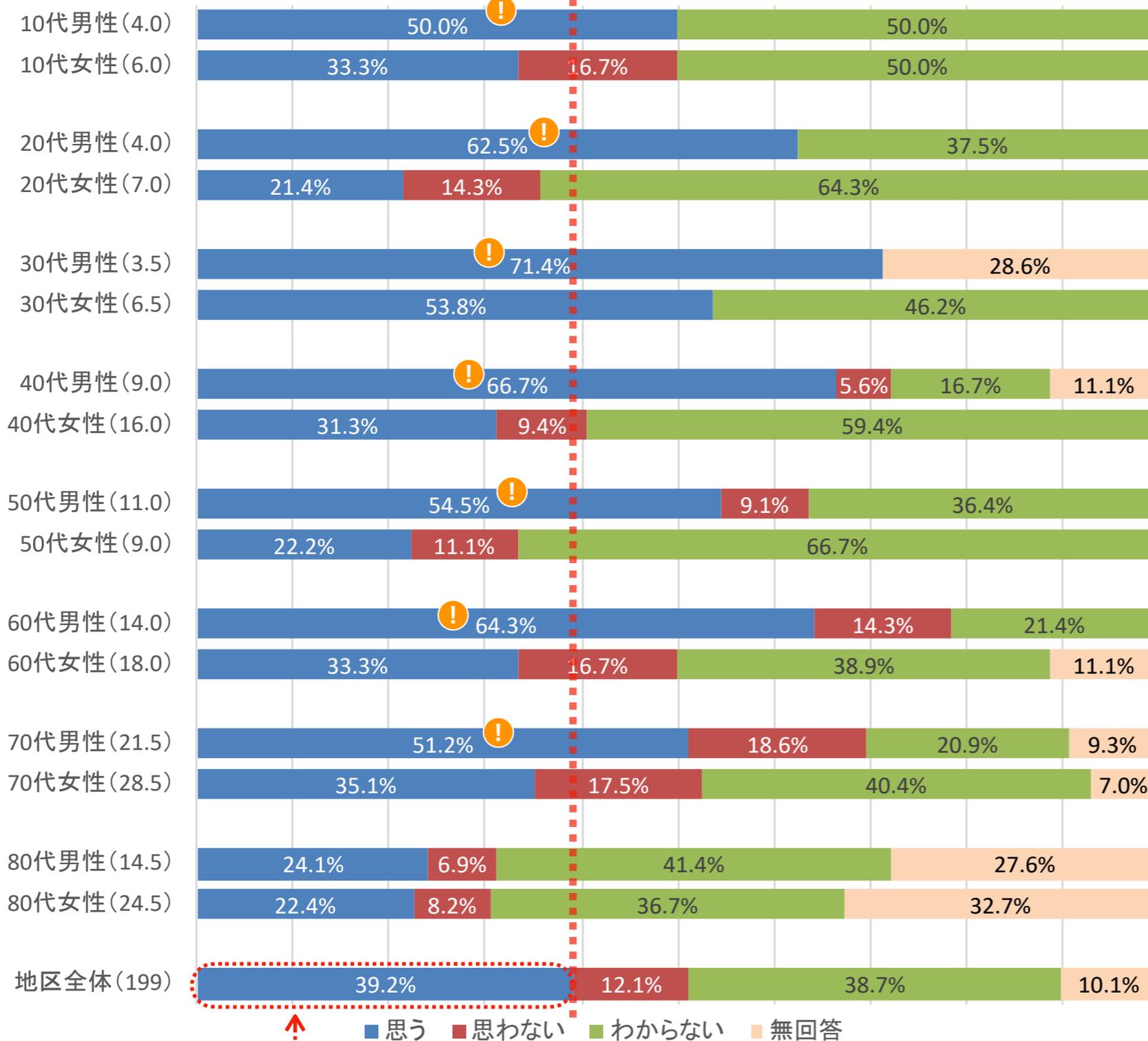
声を反映させる機会の
充足・工夫が
求められている！

地区全体では4割以上が「必要」と回答。

定住受入の必要性 (年代別×男女別)

関川村湯沢地区 (2022)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



70代以下は
男高女低

男性は強く**必要**だと思っているが
女性は**わからない**が大半

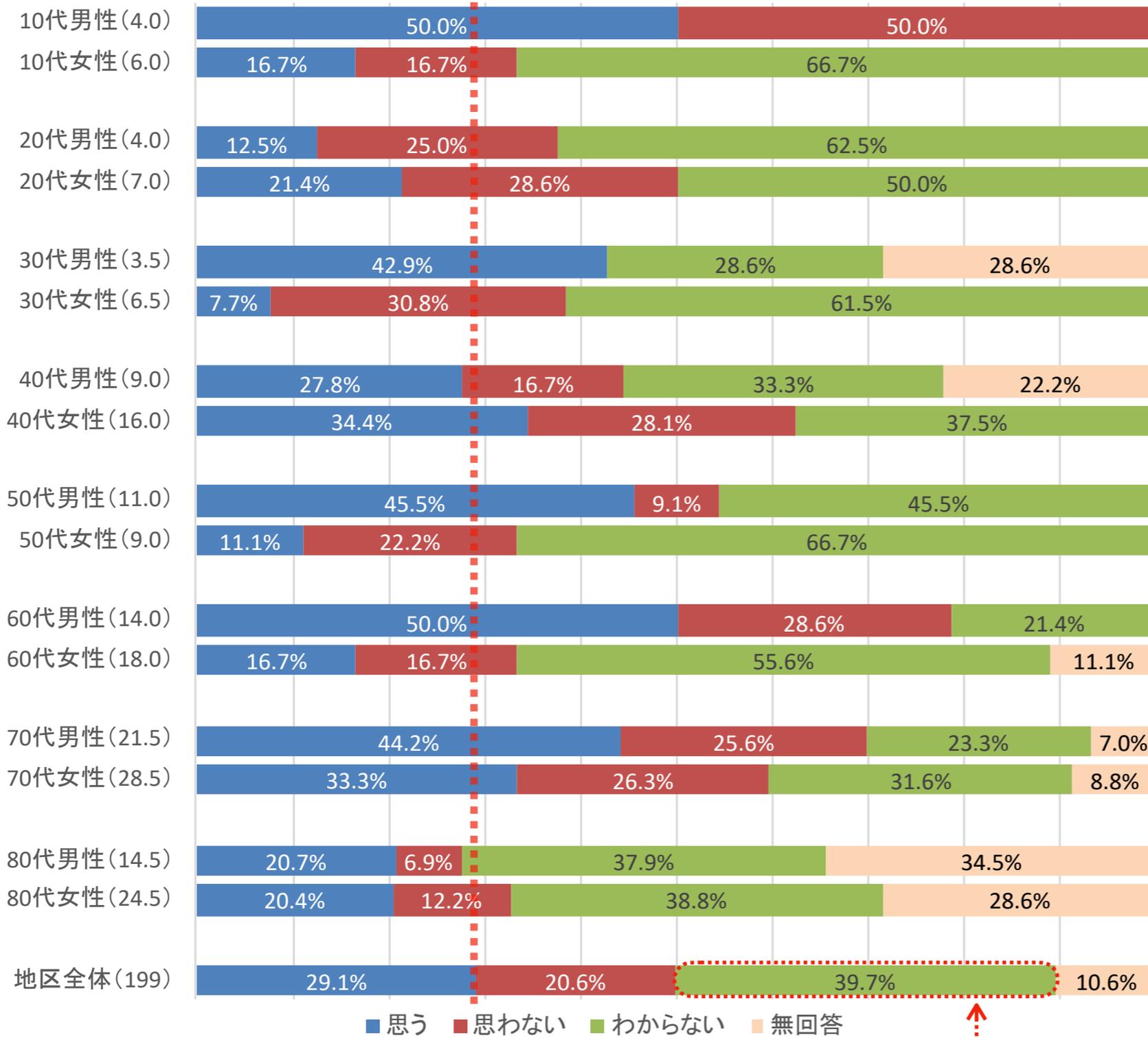
! 60代以下男性は「必要」が5割以上

地区全体では4割が「必要」と回答。

他地域との交流の必要性 (年代別×男女別)

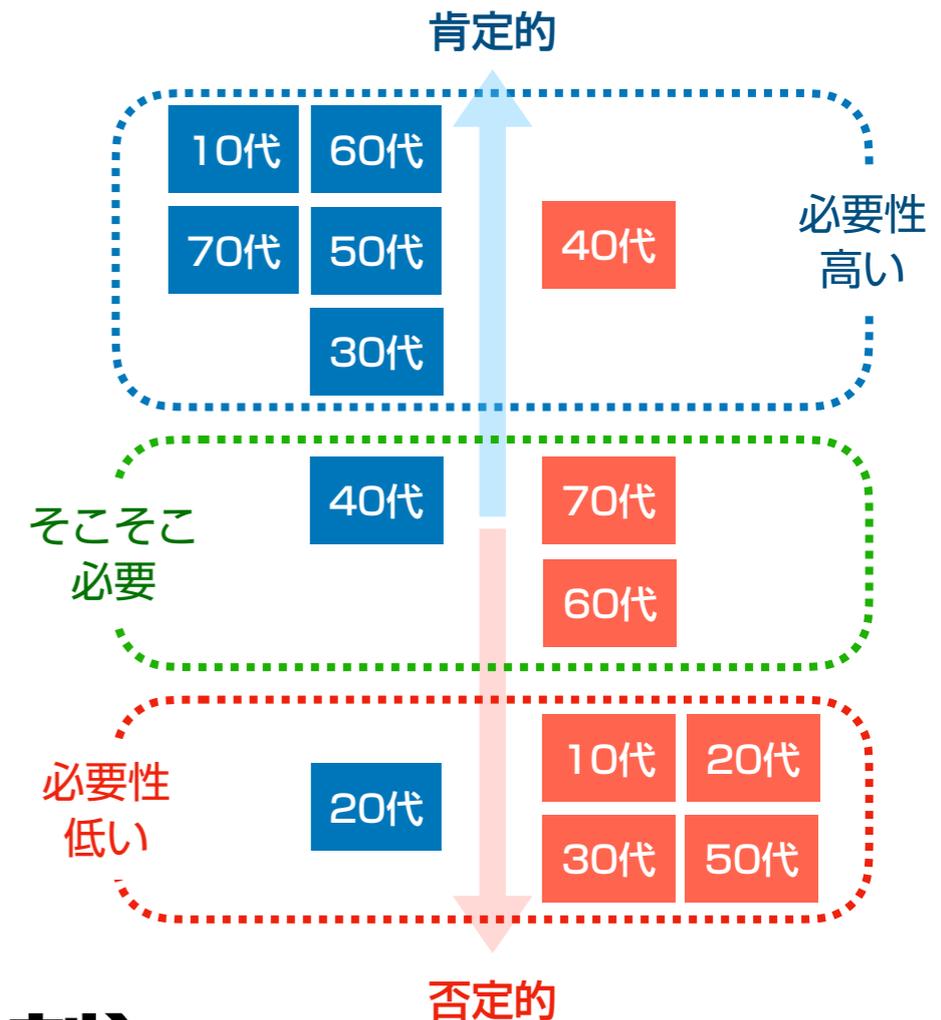
関川村湯沢地区 (2022)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



他地域との交流は

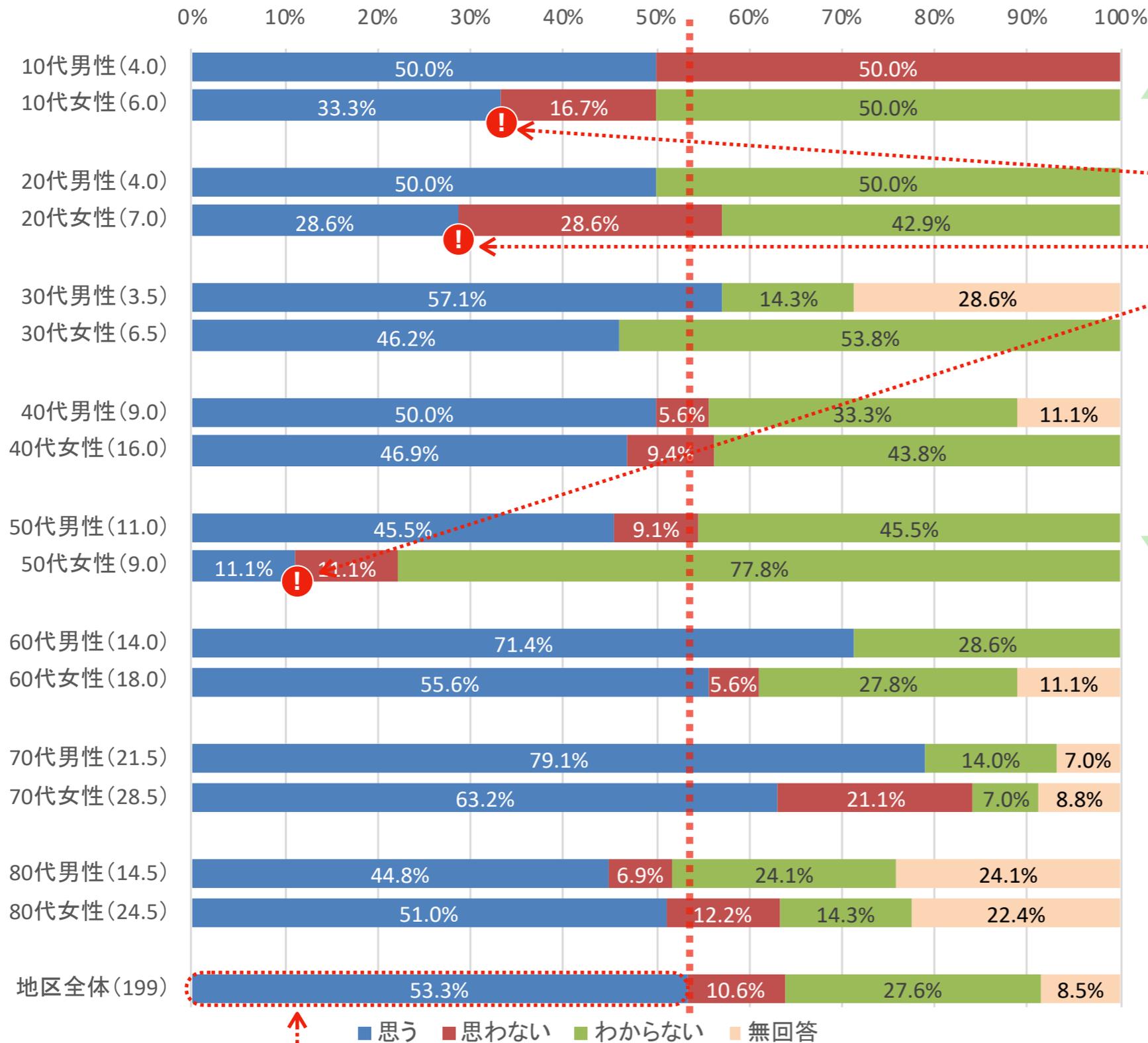
男性は**肯定的**だが
女性は**否定的**



年代別男女別の傾向

地区全体では「わからない」が最多 (4割)

この地域に住み続けたいと思うか？ (年代別×男女別) 関川村湯沢地区 (2022)



10・20・50代女性の定住意向は低い

【注意】50代女性は8割近くがわからない

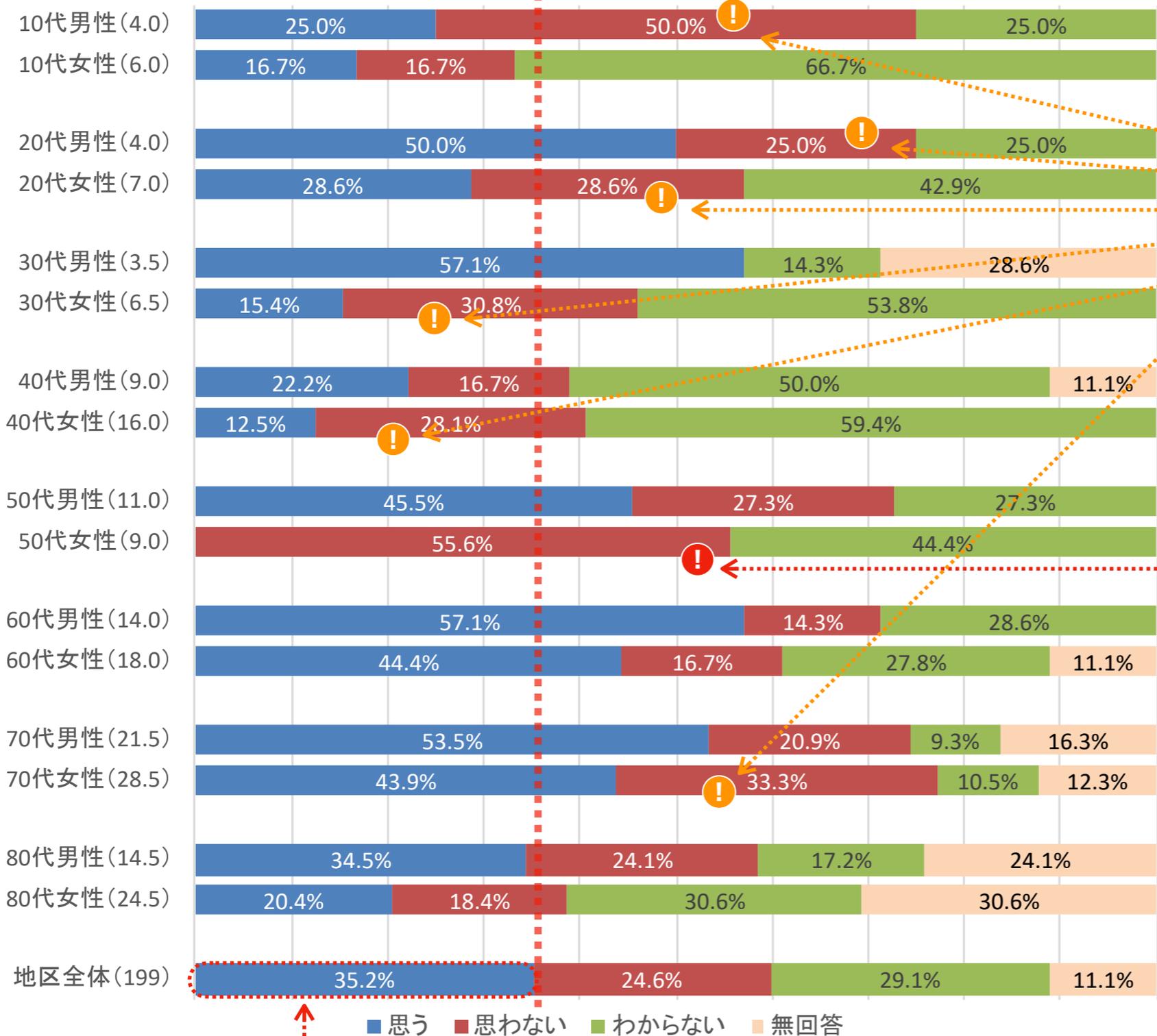
50代以下の3~5割はわからないと回答

||
これからの取り組み次第！

地区全体では「住み続けたいと思う」が半数以上

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？ (年代別×男女別)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



思わないが2~3割
 【男性】 10代、20代
 【女性】 20・30・40・70代

+

**50代女性は
思わないが半数以上**

※母親世代が住み続けてほしいとは
思わないの割合が高い

わからないも3~5割前後

||

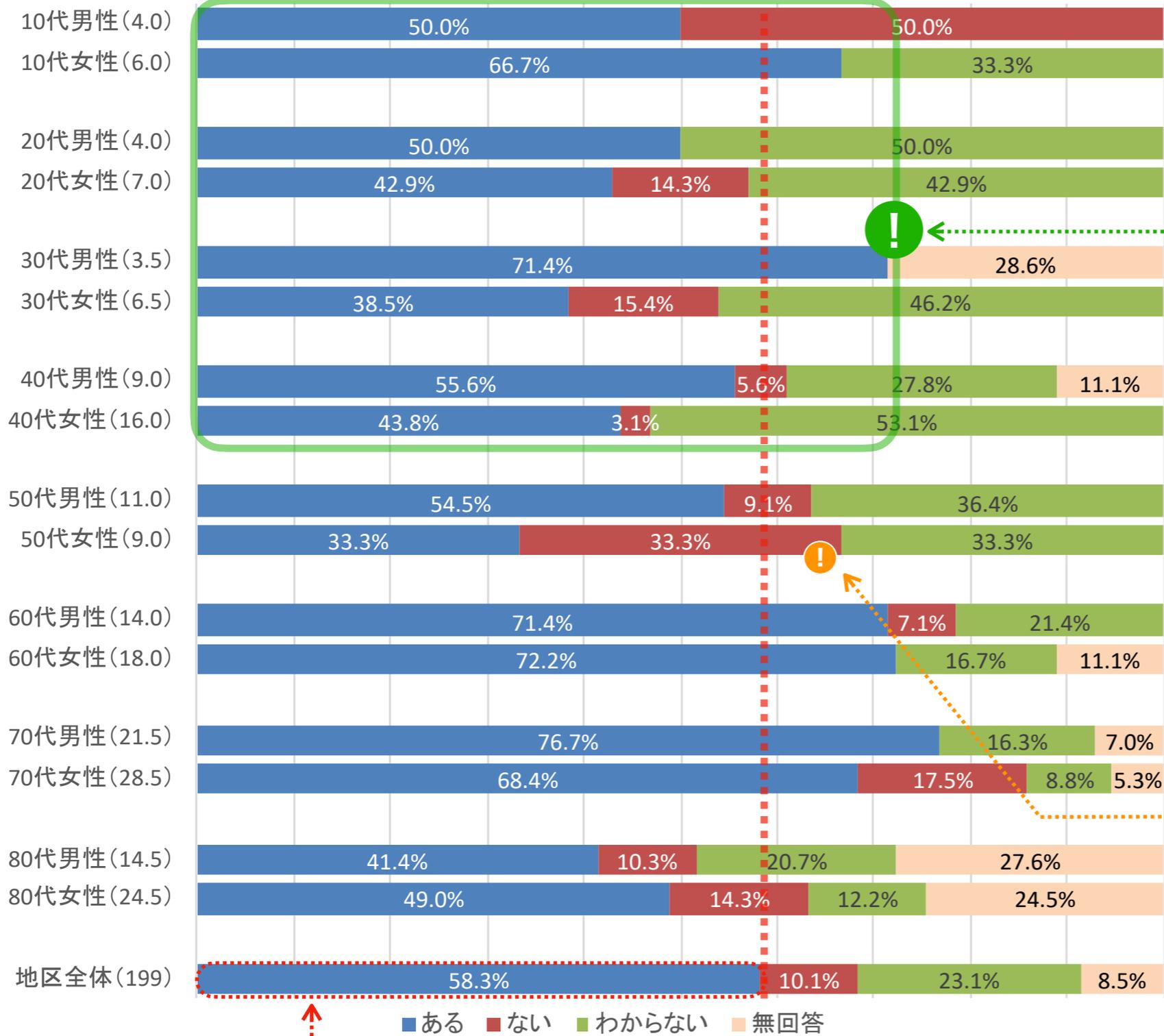
これからの取り組み次第！

地区全体では「住み続けてほしい」は1/3

地域への愛着の有無 (年代別×男女別)

関川村湯沢地区 (2022)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



定住意向が低い
40代以下の愛着度は
低い訳ではない

愛着はあっても
定住意向が低いのは...



将来への希望・
安心感が足りない!?

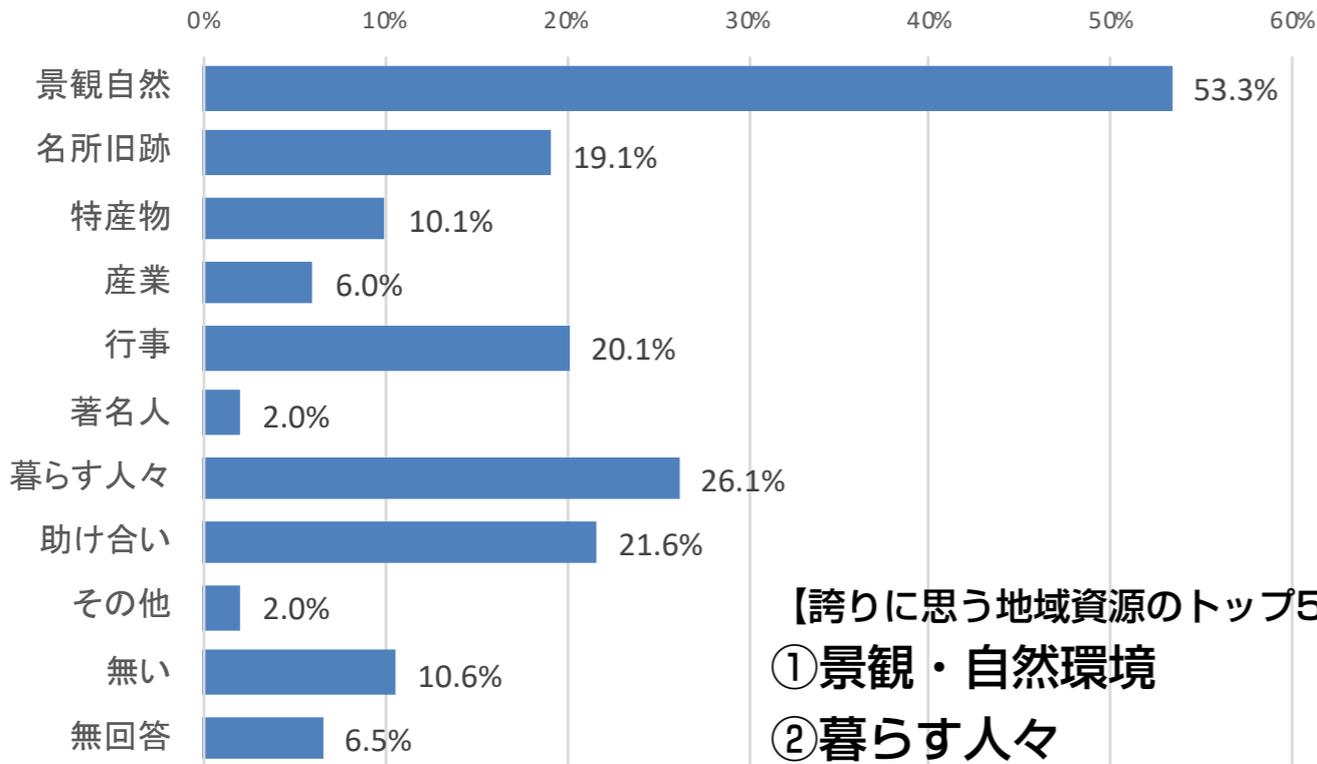
【注意】 10代男性・50代女性は
「愛着なし」の割合が高め

「愛着がある」が約6割

誇りに思う地域資源は何か (10~40代)

関川村湯沢地区 (2022)

地区全体 (複数回答)



【誇りに思う地域資源のトップ5】

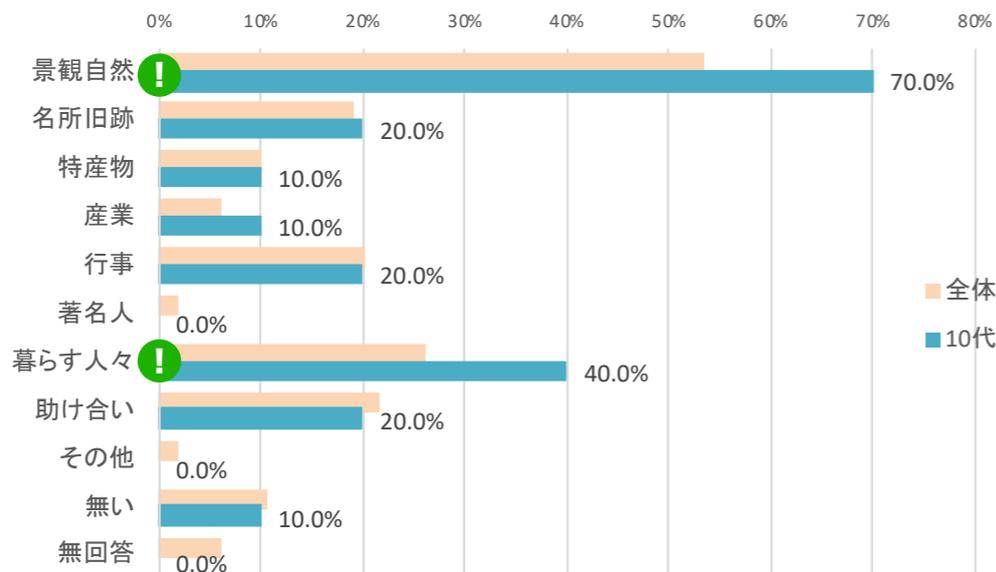
- ① 景観・自然環境
- ② 暮らす人々
- ③ 助け合いなどの社会関係
- ④ 行事
- ⑤ 名所旧跡

! 地区平均よりも5%以上高い項目

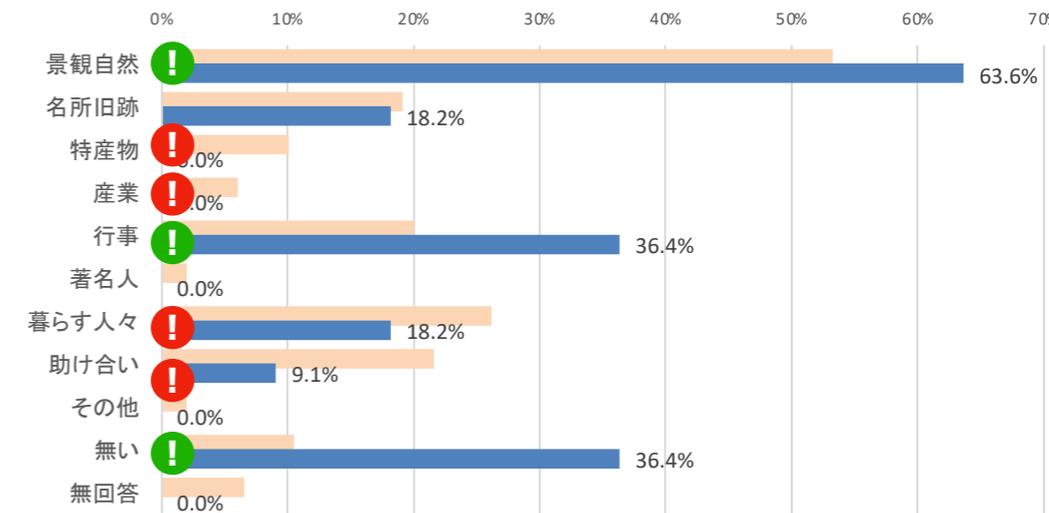
! 地区平均よりも5%以上低い項目

世代によって誇りに思う資源は違う

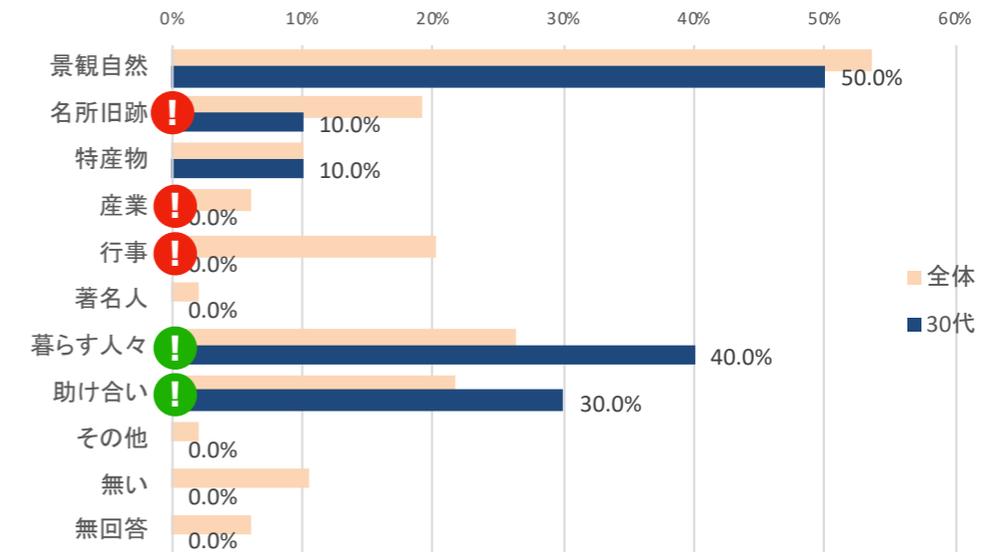
10代



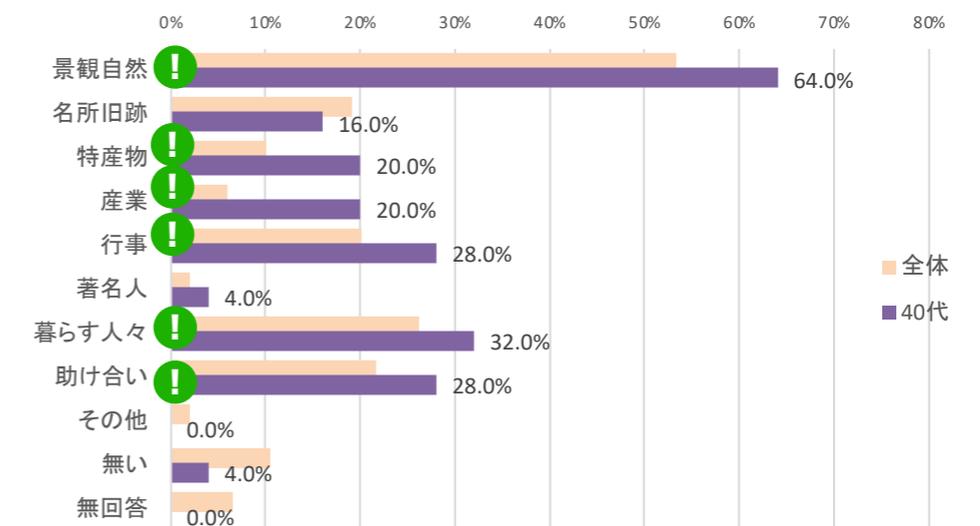
20代



30代



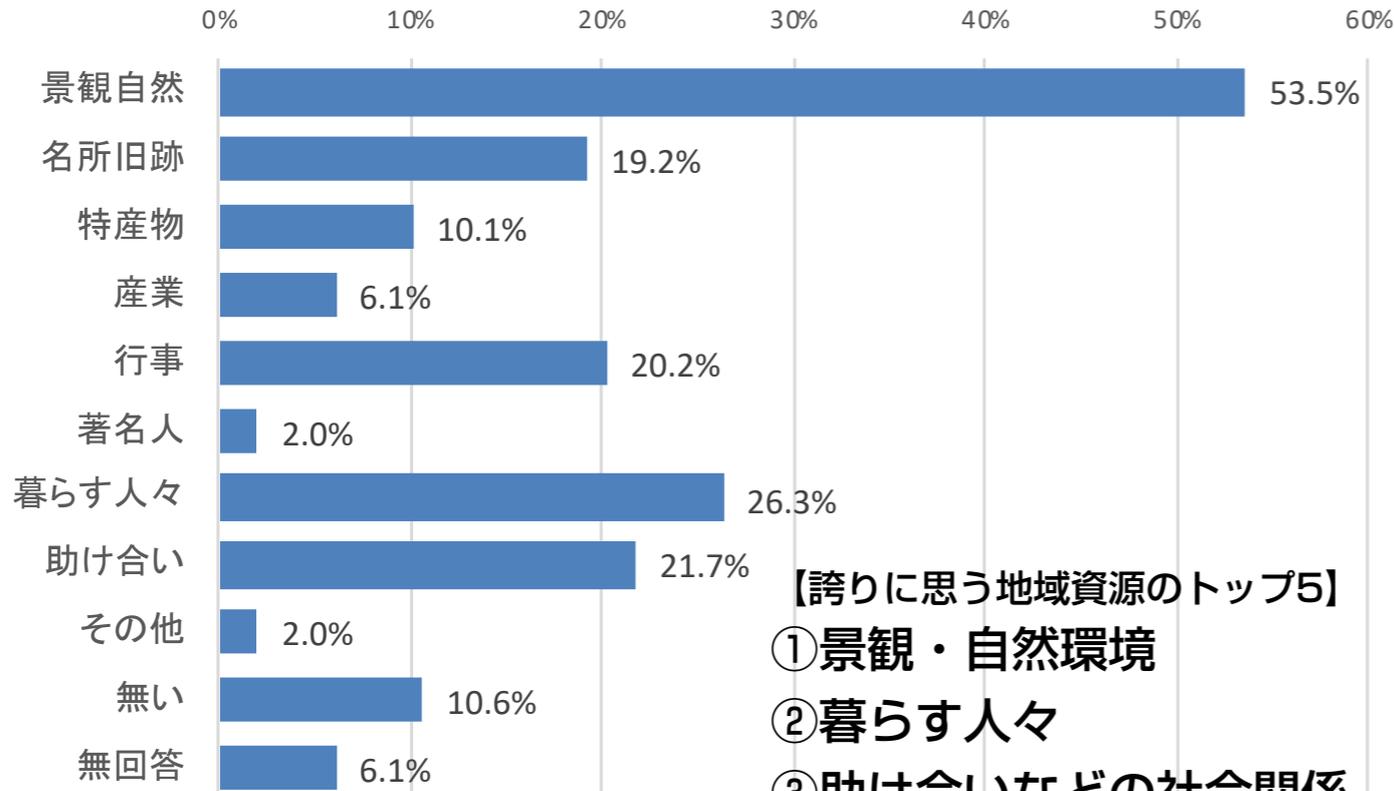
40代



誇りに思う地域資源は何か (50代~)

関川村湯沢地区 (2022)

地区全体 (複数回答)



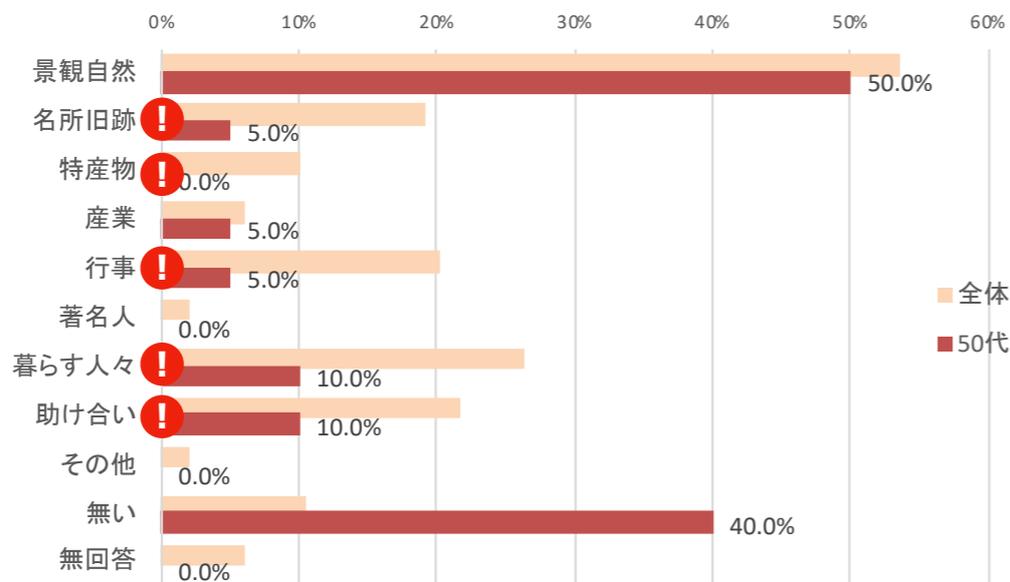
【誇りに思う地域資源のトップ5】

- ① 景観・自然環境
- ② 暮らす人々
- ③ 助け合いなどの社会関係
- ④ 行事
- ⑤ 名所旧跡

! 地区平均よりも5%以上高い項目

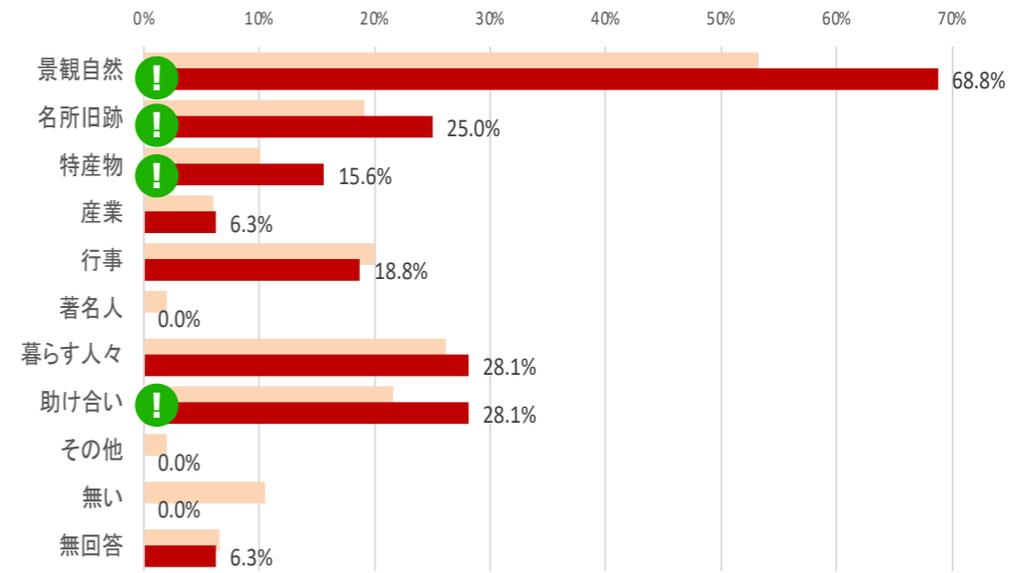
! 地区平均よりも5%以上低い項目

50代

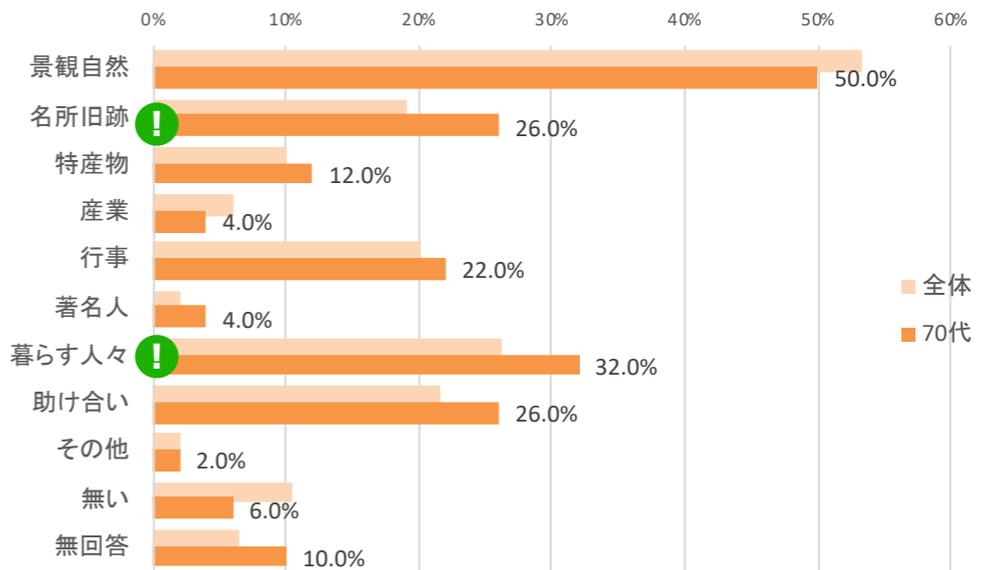


世代によっても誇りに思うところの資源は違う

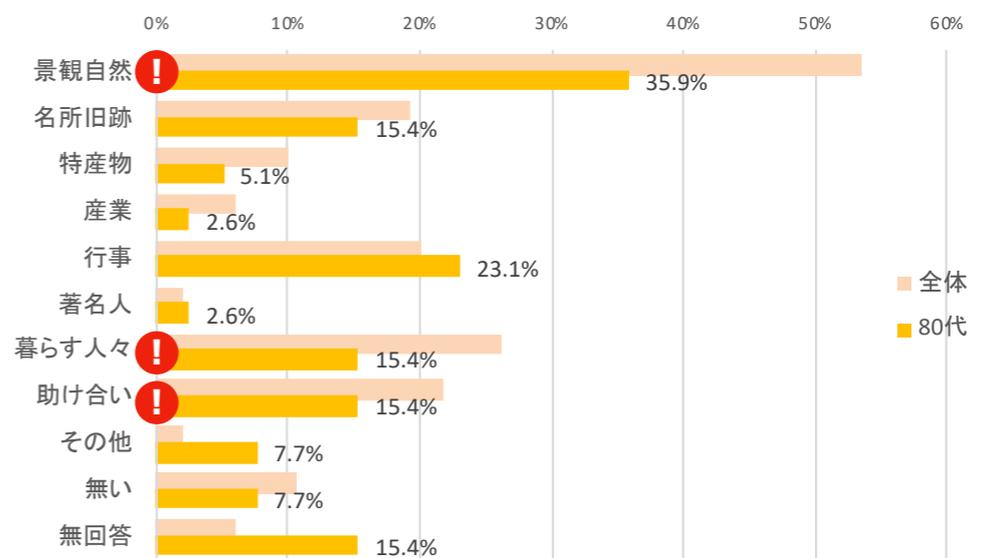
60代



70代



80代



暮らしの中の困りごと (複数回答)

10代

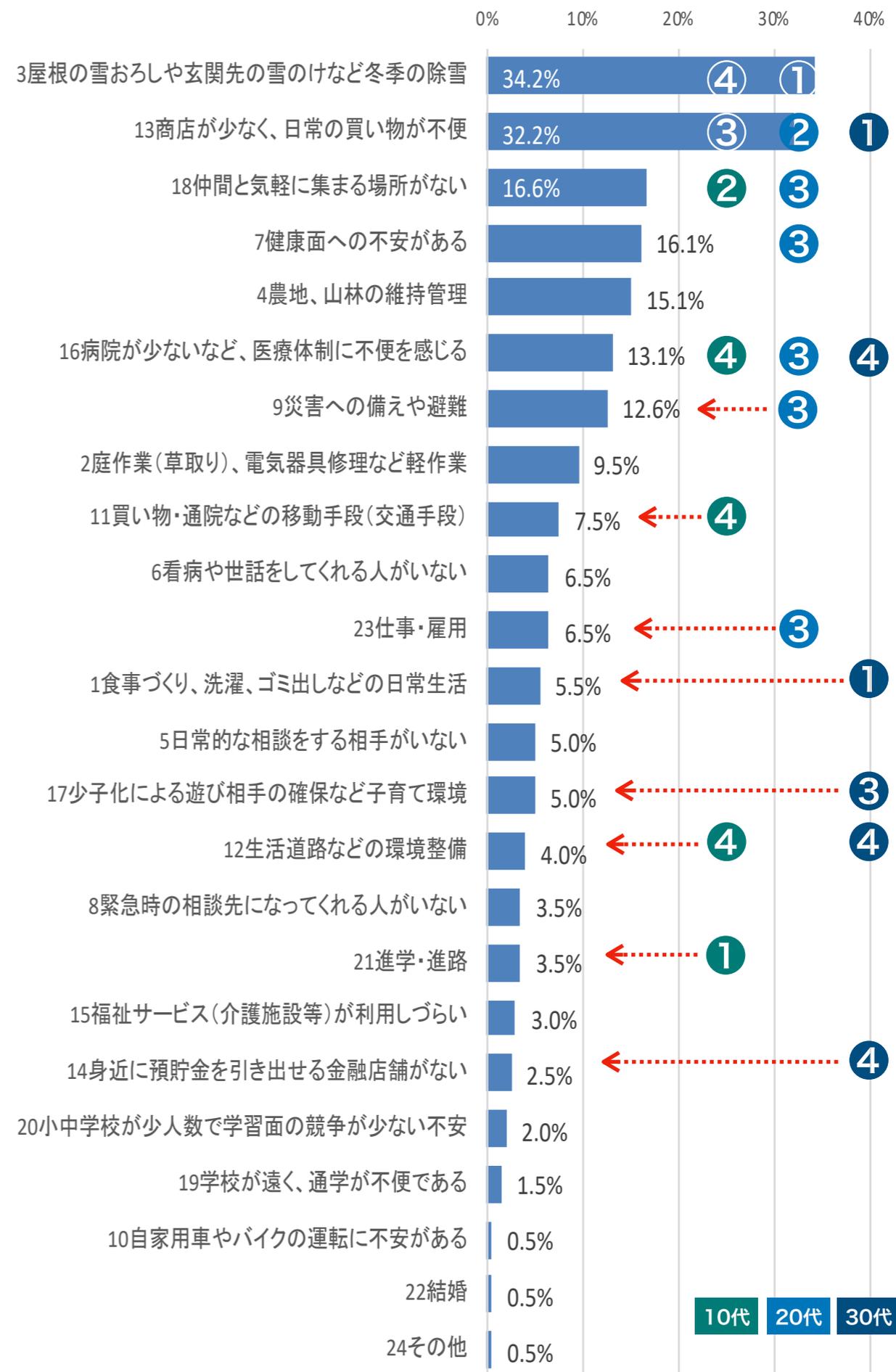
10代		
1	進学・進路	50.0%
2	仲間と気軽に集まる場所がない	40.0%
3	商店が少なく、日常の買い物が不便	20.0%
4	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	10.0%
	買い物・通院などの移動手段(交通手段)	
	生活道路などの環境整備	
	病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	

20代

20代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	36.4%
2	商店が少なく、日常の買い物が不便	27.3%
3	仲間と気軽に集まる場所がない	18.2%
	病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	
	健康面への不安がある	
	災害への備えや避難	
	仕事・雇用	

30代

30代		
1	商店が少なく、日常の買い物が不便	40.0%
	食事づくり、洗濯、ゴミ出しなどの日常生活	
3	少子化による遊び相手の確保など子育て環境	30.0%
4	病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	20.0%
	生活道路などの環境整備	
	身近に預貯金を引き出せる金融店舗がない	



地区全体 (複数回答)

暮らしの中の困りごと (複数回答)

40代

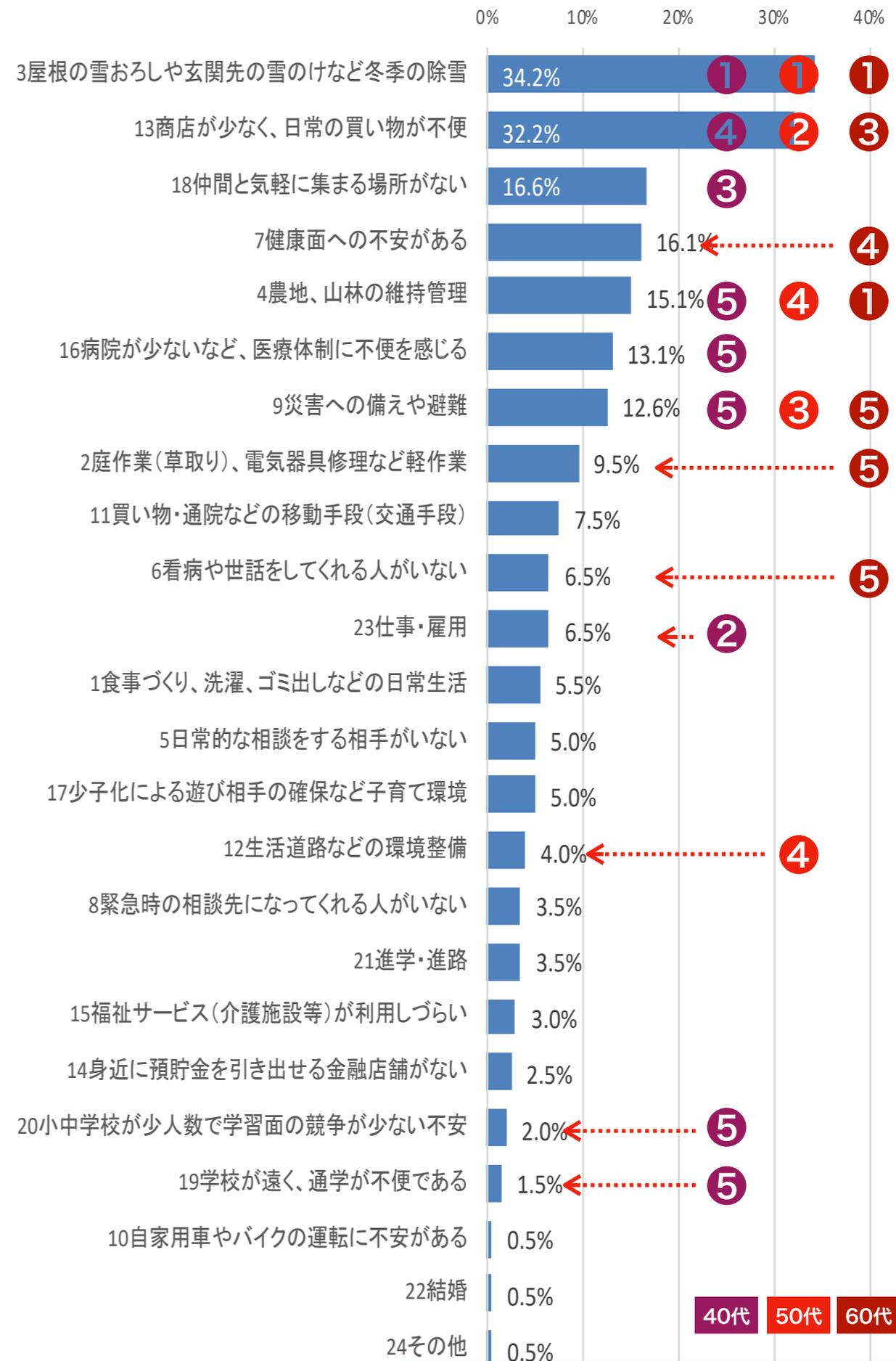
40代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	28.0%
2	仕事・雇用	24.0%
3	仲間と気軽に集まる場所がない	20.0%
4	商店が少なく、日常の買い物が不便	16.0%
5	病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	12.0%
	農地、山林の維持管理	
	小中学校が少人数で学習面の競争が少ない不安	
	災害への備えや避難	
	学校が遠く、通学が不便である	

50代

50代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	40.0%
2	商店が少なく、日常の買い物が不便	35.0%
3	災害への備えや避難	20.0%
4	農地、山林の維持管理	10.0%
	生活道路などの環境整備	

60代

60代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	28.1%
	農地、山林の維持管理	
3	商店が少なく、日常の買い物が不便	25.0%
4	健康面への不安がある	21.9%
5	災害への備えや避難	12.5%
	看病や世話をしてくれる人がいない	
	庭作業(草取り)、電気器具修理など軽作業	



地区全体 (複数回答)

暮らしの中の困りごと (複数回答)

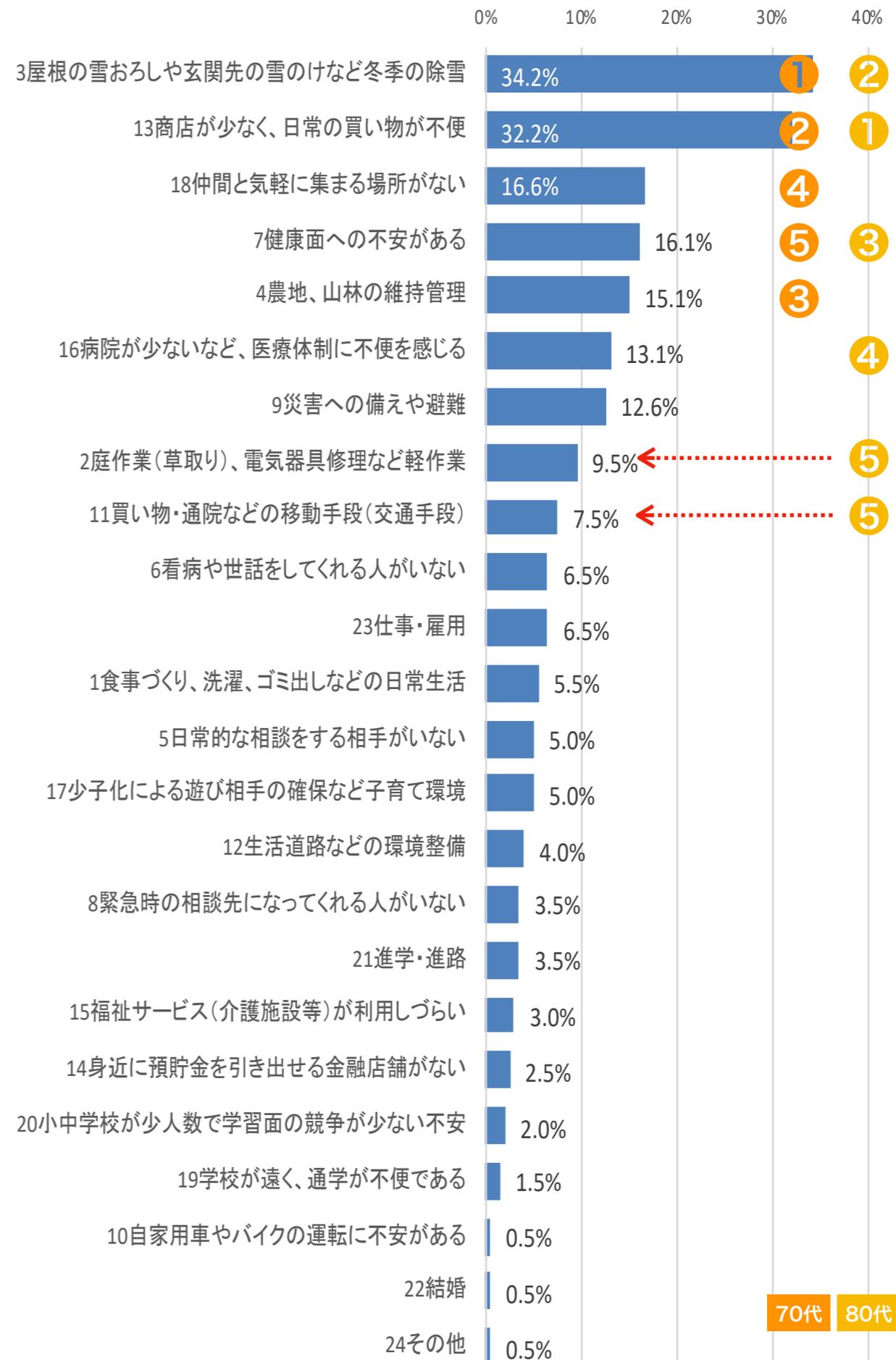
70代

70代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	50.0%
2	商店が少なく、日常の買い物が不便	42.0%
3	農地、山林の維持管理	28.0%
4	仲間と気軽に集まる場所がない	24.0%
5	健康面への不安がある	22.0%

80代

80代		
1	商店が少なく、日常の買い物が不便	38.5%
2	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	33.3%
3	健康面への不安がある	25.6%
4	病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	23.1%
5	庭作業(草取り)、電気器具修理など軽作業 買い物・通院などの移動手段(交通手段)	15.4%

年代によって不安・困りごとの
順番は違う (人数の少ない若年層は特に)



地区全体 (複数回答)

第1位 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪 34.2%

大半の世代で上位にランクイン (50~70代ではトップ)

→60代以下は担い手不足への懸念、70代以上は作業自体への不安?

第2位 商店が少なく、日常の買い物が不便 32.2%

すべての世代で上位にランクイン (20~40代はトップ/50~70代は第2位)

第3位 仲間と気軽に集まる場所がない 16.6%

60代以上で上位にランクイン (80代はトップ、60代は第2位)

第4位 健康面への不安がある 16.1%

大半の世代で上位にランクイン

第5位 農地、山林の維持管理 15.1%

50~60代及び80代で上位にランクイン

全体での順位は
高くはないが、
高齢世代
特有の困りごと

第8位 庭作業（草取り）、電気器具修理など軽作業 9.5%

【60代・80代】 第5位 → 日常生活でのちょっとした手助けを求めている現れ!?

第9位 買物・通院などの移動手段（交通手段） 7.5%

【80代】 第5位 【10代】 第5位 → 移動手段のない世代は困っている

第10位 看病や世話をしてくれる人がいない 6.5%

【60代】 第5位 → 今後の暮らしを考えると不安?!

第6位 病院が少ないなど医療体制に不便を感じる 13.1%

【10代】 第4位 【20代】 第3位 【30代】 第4位 【40代】 第5位

第7位 災害への備えや避難 12.6%

【20代】 第3位 【40代】 第5位

第11位 仕事・雇用 6.5%

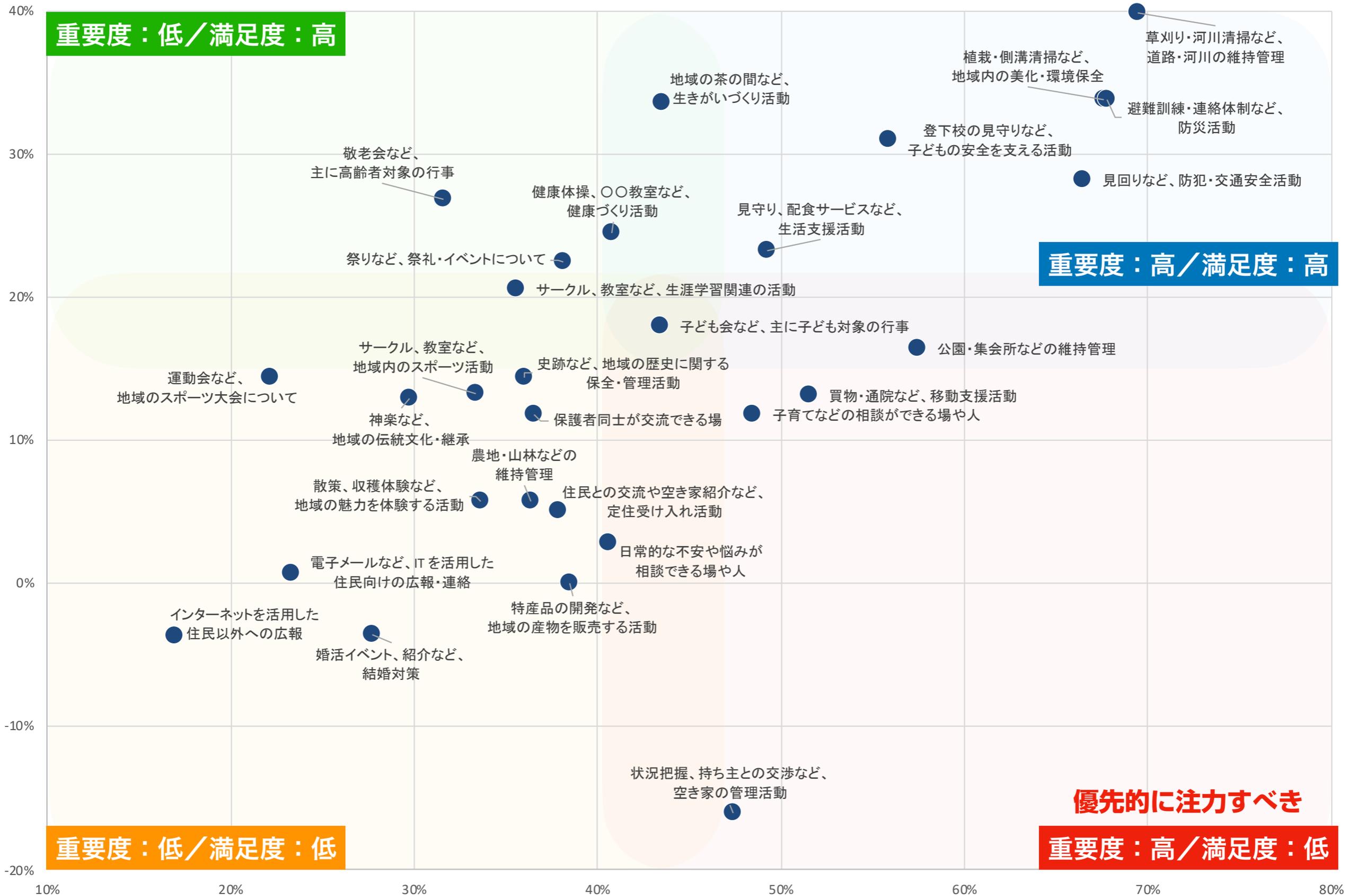
【20代】 第3位 【40代】 第2位

全体での順位は
高くはないが、
若年・中堅
世代
特有の困りごと

取り組みの満足度と重要度

関川村湯沢地区 (2022)

満足度率

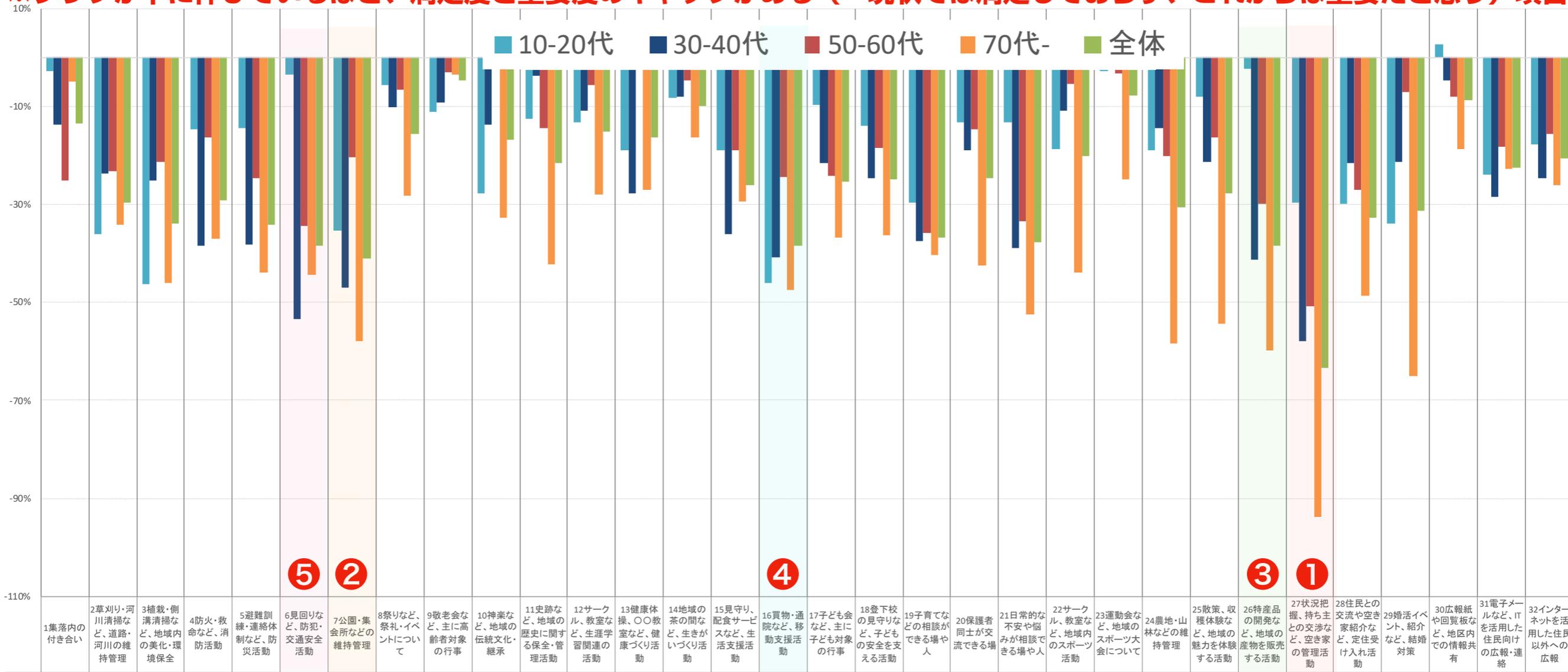


重要度率

取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）

関川村湯沢地区（2022）

※グラフが下に伸びているほど、満足度と重要度のギャップがある（＝現状では満足しておらず、これからは重要だと思う）項目



① 状況把握、持ち主との交渉など空家の管理活動

② 公園・集会所などの維持管理

③ 特産品の開発など、地域の産物を販売する活動

④ 買物・通院など、移動支援活動

⑤ 見回りなど、防犯・交通安全活動

若年 < 壮年

若年 < 壮年

若年 ≒ 壮年

若年 > 壮年

◎ 将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている上位5つ

取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）

関川村湯沢地区（2022）

これからの地域づくりで大切だと思っているテーマ・年代別ランキング（上位）

	全体	10-20代	30-40代	50-60代	70代-
1	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -63.4%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -46.2%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -57.9%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -50.8%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -93.7%
2	7公園・集会所などの維持管理 -41.1%	16買物・通院など、移動支援活動 -45.9%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -53.4%	19子育てなどの相談ができる場や人 -35.7%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -65.0%
3	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -38.5%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -36.0%	7公園・集会所などの維持管理 -46.9%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -34.3%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -59.9%
4	16買物・通院など、移動支援活動 -38.4%	7公園・集会所などの維持管理 -35.4%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -41.1%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -33.4%	24農地・山林などの維持管理 -58.4%
5	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -38.3%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -33.9%	16買物・通院など、移動支援活動 -40.7%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -29.7%	7公園・集会所などの維持管理 -57.9%
6	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -37.8%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -29.8%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -38.8%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -27.0%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -54.4%
7	19子育てなどの相談ができる場や人 -36.7%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -29.5%	4防火・救命など、消防活動 -38.4%	1集落内の付き合い -25.1%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -52.4%
8	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -34.0%	19子育てなどの相談ができる場や人 -29.5%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -38.1%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -24.7%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -48.6%
9	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -33.8%	10神楽など、地域の伝統文化・継承 -27.8%	19子育てなどの相談ができる場や人 -37.5%	16買物・通院など、移動支援活動 -24.3%	16買物・通院など、移動支援活動 -47.4%
10	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -32.8%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -24.0%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -36.0%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -24.2%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -45.9%
11	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -31.3%	24農地・山林などの維持管理 -19.0%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -28.3%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -23.1%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -44.3%
12	24農地・山林などの維持管理 -30.6%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -19.0%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -27.7%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -21.3%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -43.8%
13	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -29.5%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -19.0%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -25.0%	7公園・集会所などの維持管理 -20.4%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -43.8%
14	4防火・救命など、消防活動 -29.1%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -18.7%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -24.5%	24農地・山林などの維持管理 -20.1%	20保護者同士が交流できる場 -42.5%
15	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -27.8%	32インターネットを活用した住民以外への広報 -17.8%	32インターネットを活用した住民以外への広報 -24.5%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -19.0%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -42.3%
16	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -26.0%	4防火・救命など、消防活動 -14.6%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -23.7%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -18.5%	19子育てなどの相談ができる場や人 -40.2%

年代によって優先すべきと考えているテーマはかなり違う

（人数の少ない若年層は特に）

取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）

関川村湯沢地区（2022）

これからの地域づくりで大切だと思っているテーマ・年代別ランキング（下位）

	全体	10-20代	30-40代	50-60代	70代-
17	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -25.4%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -14.3%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -21.5%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -18.2%	4防火・救命など、消防活動 -36.9%
18	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -24.9%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -14.0%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -21.4%	4防火・救命など、消防活動 -16.4%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -36.8%
19	20保護者同士が交流できる場 -24.7%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -13.2%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -21.3%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -16.2%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -36.2%
20	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -22.5%	20保護者同士が交流できる場 -13.2%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -21.2%	32インターネットを活用した住民以外への広報 -15.6%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -34.2%
21	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -21.6%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -13.2%	20保護者同士が交流できる場 -19.0%	20保護者同士が交流できる場 -14.6%	10神楽など、地域の伝統文化・継承 -32.7%
22	32インターネットを活用した住民以外への広報 -20.7%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -12.6%	24農地・山林などの維持管理 -14.3%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -14.4%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -29.4%
23	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -20.1%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 -11.1%	10神楽など、地域の伝統文化・継承 -13.7%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -8.0%	8祭りなど、祭礼・イベントについて -28.3%
24	10神楽など、地域の伝統文化・継承 -16.8%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -9.6%	1集落内の付き合い -13.6%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -7.0%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -28.0%
25	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -16.2%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -8.2%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -10.8%	8祭りなど、祭礼・イベントについて -6.5%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -26.9%
26	8祭りなど、祭礼・イベントについて -15.6%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -7.9%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -10.8%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -5.7%	32インターネットを活用した住民以外への広報 -26.0%
27	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -15.0%	8祭りなど、祭礼・イベントについて -5.6%	8祭りなど、祭礼・イベントについて -10.1%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -5.3%	23運動会など、地域のスポーツ大会について -24.8%
28	1集落内の付き合い -13.4%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -3.5%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 -9.3%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -4.6%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -22.7%
29	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -9.9%	1集落内の付き合い -2.6%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -7.9%	23運動会など、地域のスポーツ大会について -3.1%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -18.7%
30	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -8.7%	23運動会など、地域のスポーツ大会について -2.6%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -4.7%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 -2.9%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -16.3%
31	23運動会など、地域のスポーツ大会について -7.7%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -2.3%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -3.8%	10神楽など、地域の伝統文化・継承 1.5%	1集落内の付き合い -4.9%
32	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 -4.7%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 2.6%	23運動会など、地域のスポーツ大会について 7.0%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 3.8%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 -3.5%

年代によって優先すべきと考えているテーマはかなり違う

（人数の少ない若年層は特に）

◎将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている項目上位5つ

①状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動

大半の年代でこの必要性を強く感じている。

②公園・集会所などの維持管理

大半の年代でこの必要性を強く感じている（特に40代以下）

→将来的な活用について不安に感じている？

③特産品の開発など、地域の産物を販売する活動

30代以上がこの必要性を強く感じているが、20代以下はまったく感じていない。

④買物・通院など、移動支援活動

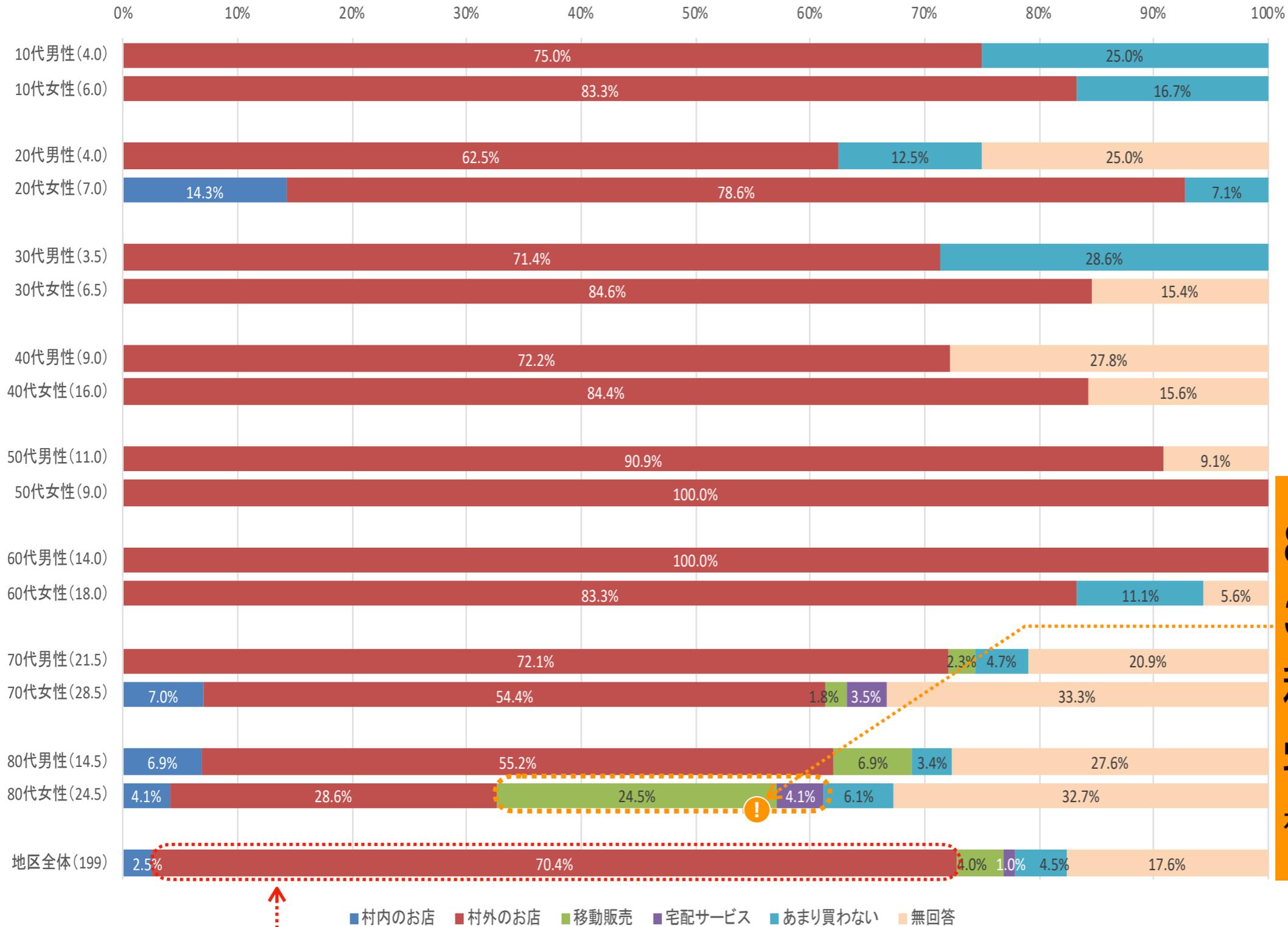
40代以下は、この必要性を強く感じている。→送迎する側だからこそ不安？

⑤見回りなど、防犯・交通安全活動

30～60代の子育て世代がこの必要性を強く感じている。

生鮮食品の購入場所

関川村湯沢地区 (2022)



80代女性の
3割近くが
移動販売もしくは
宅配サービス
を利用している

大半が村外のお店で購入している

アンケート結果から見えるポイント①

関川村湯沢地区 (2022)

☑農作業を手伝っている人の79.1%が60代以上。

将来的な農地の維持管理は大丈夫か？

☑70代になると自分で車を運転する人の割合が減少。

- ▶ 60代以上は1割以上がバスを利用。80代女性は2割がタクシーを利用している。
- ▶ 自ら車を運転しない人は、親族等による送迎よりも、公共交通を移動手段として利用している。

☑買物・通院などの移動支援は、今後の重要なテーマだという認識されている。

地域の人口構成を勘案すると、移動支援はすぐに着手すべき課題

- ▶ 30~40代以下がこの必要性を強く感じている。(現在、高齢者を送迎している側が切実に求めている)
- ▶ 大半が車の運転ができるため、「今は困っていない」状況。ただし、車の運転ができなくなると、日々の暮らしに困る人が急増することは確実。

☑全体の半数以上がインターネットを利用

- ▶ 50代以下は大半がスマホでインターネットを利用。

50代以下はスマホ経由での情報伝達の方が効果的?!

☑30代以上は、地域活動に参加していなくても関心はある。

- ▶ 今は30～60代の頑張りで地域活動が回っている。しかし、10～20代は大半が無関心で参加したいとは思っていない。
- ▶ 30代以上は関心はあるものの不参加が2～4割。女性は男性に比べてこの割合がどの年代も高い。
- ▶ 関心あっても不参加の理由は「余裕が無い」。50代以下の8割がこれを理由にあげている。

多様な地域活動への関わり方を設けることで参加の可能性があるのでは？

直接対話を通じて、さらに理由を深掘りしていくことが必要。

☑20代・40～50代は必ずしも土日が休日ではない。

- ▶ この世代は、土曜日が毎週休日であるのは1～2割。日曜日が毎週休日なのは4割前後。

この世代の参加を求めるのであれば、開催日設定の配慮が必要。

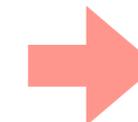
☑近所づきあいについては、30～60代が「忙しすぎる」という割合が全体平均よりも高い。

- ▶ 約5割は「悩みなし」。
- ▶ 30～60代の会議出席・役員経験は他の世代とほぼ同じ割合。

人は減っているのに、役割・仕事は変わっていないければ、負担感が増すのは当然。

☑**役員世代も中堅世代も、もっと女性・若者の声を反映すべきと思っている。**

- ▶ 20～50代男性は、「声を反映すべき」の割合が6～7割とかなり高い。
- ▶ 60～70代の男性（役員世代）も、約6割が「必要」と考えている。



お互いにその気はある！声を反映させる機会の充足・工夫が求められている。

☑**約4割が移住・定住者の受け入れは必要と考えている。**

- ▶ 60代以下男性は「必要」が5割以上。
- ▶ 男性は全体的に強く必要だと思っているが、女性はわからないが大半。



男性は積極的に受け入れることを望む声が多いが、女性はまだ慎重姿勢か？

☑**他地域との交流の必要性については「わからない」が最多の4割。**

- ▶ 男性は肯定的だが女性は否定的。



地区全体としては、あまり積極姿勢ではない。

☑半数以上が「住み続けたい」と思っている。

- ▶ 10・20・50代女性の定住意向は低く、特に50代女性は8割近くが「わからない」と回答している。
- ▶ 50代以下は3～5割は「わからない」と回答。

☑自分の子どもにも住み続けてほしいと思っっているのは、地区全体では1/3。

- ▶ どの年代も「わからない」は3～5割前後。
- ▶ 50代女性は「思わない」が半数以上。母親世代が「住み続けてほしいとは思わない」の割合が高い。

☑地区全体の半数以上が「地域に愛着がある」と回答。

- ▶ 40代以下の愛着度は低い訳ではない。
- ▶ 「誇りに思う地域資源」については、世代によってかなり異なっている。

「わからない」が多いということは、これからの取り組み次第！

愛着があっても定住意向が低いのは、将来への希望・安心感が足りていないことが要因ではないか。

☑暮らしの中の困りごとトップ5は、

- ①屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪
- ②商店が少なく、日常の買い物が不便
- ③仲間と気軽に集まる場所がない
- ④健康面への不安
- ⑤農地、山林の維持管理



☑今後、重点的に取り組むべきテーマトップ5は、

- ①状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動
- ②公園・集会所などの維持管理
- ③特産品の開発など、地域の産物を販売する活動
- ④買物・通院など、移動支援活動
- ⑤見回りなど、防犯・交通安全活動



困りごとの内容をさらに深掘りしていくことが必要。

ただし、世代によって上位にランキングされている内容はかなり異なる。（特に若年層）若年層は少数派であることを十分に認識し、丁寧に扱うことが求められる。